

令和6年度

事業報告書

新砂田保育園

しんほそぐち保育園

ブライト保育園 横浜佐江戸

ブライト保育園 大阪谷町

ブライト保育園 東京入船

ブライト保育園 浦和美園

ブライト保育園 横浜日吉

ブライト保育園 横浜綱島

ブライト保育園 横浜松見町

ブライト保育園 調布仙川

ブライト保育園 福岡高宮

ブライト保育園 福岡東比恵

ブライト保育園 安城桜町

ブライト保育園 名古屋一社

ブライト保育園 大阪歌島

令和6年度新砂田保育園事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 120名

(2) 年齢別入所児童数(令和7年3月31日現在)

夢(0歳)	虹(1歳)	月(2歳)	星(3歳)	宙(4歳)	華(5歳)	合計
12名	18名	24名	24名	24名	24名	126名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・主任 1名 ・保育士 13名 ・パート保育士 6名
- ・調理(栄養士) 2名 ・パート調理 2名
- ・嘱託医 2名(内科 1名・歯科 1名) 計 27名 (令和7年3月31日現在)

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・職員会議(毎月) ・クラス会議、給食会議(月1回) ・リーダー会議(月1回)
- ・定例会議(月1回) ・各種委員会会議(随時) など

(5) 研修会、勉強会(人材育成、保育の質の向上)の取り組み状況

保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。

内部においても毎月の職員会議にて救急講習等を実施し、いざという時の対応訓練を行った。その他法人として保育語ろう会の実施。

(6) 小学校・行政機関との連絡協調

保育所に対する理解を深め、協力、連携を図る。

今年度の幼保小連絡会は、書面と電話で連絡交換会を実施。

小学校の町探検では2年生が保育園内の見学を行った。

年長児が小学校見学に参加した。

II. 保育の実施状況

【法人理念】

関わるすべての人の「ハッピー」の追及

【保育理念】

「園児」の「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基盤づくり

<支援したい姿、力>

「自分という存在を肯定的にとらえ、自ら学び・考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力」

<大事にしたいこと>

就学準備という狭い見方ではなく、広い意味での「人生のための学び」を大切にする

【保育モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」

【法人テーマ】

「全職員が発達を学び理解を深め、年齢に応じた適正で安全な質の高い保育を提供する。」

《今年度の園目標、運営目標》

●あなたは大切な存在

- ① こころの種に「愛情」という栄養をたっぷり注ごう
- ② みんな大切な新砂田保育園の仲間
- ③ 保育計画の活用
- ④ 職員同士感謝を伝え合おう

<園目標実現のための取り組み、意識したこと>

- ・子どもたちと向き合う時間を最優先し、時間と心のゆとりを持って、保育(仕事)を楽しむために今までやっていたことの見直し、軽減を図る。(＊行事、委員会、書類、各種ルール、しくみ など)
- ・子どもに対しての行動指針を決め、各自実践、振り返りを行った。
- ・異年齢児交流する機会を設け、異年齢で経験できる体験を増やした。
- ・職員全員で各クラスの発達を話し、全クラスにの発達を学ぶ機会を作った。
- ・保護者の方に安心して預けてもらえるよう、言葉遣いや所作を丁寧にすることを心掛けた。
- ・ラーニングストーリーを通じて子ども達の「今」を知り、クラス単位ではなく一人ひとりをしっかりと理解するようにした。
- ・園長、主任と現場の中心となる全体リーダー2名を入れて、4名の矢で職員のサポートをし、さらなる風通しの良い園作りを目指した。
- ・園目標→各クラス目標→個人目標という目標の「連鎖」を図り、長期、中期、短期のP-D-C-Aサイクルの意識と実践を行う。また個人目標シートの作成し、園長との面談やすり合せを行った。

Ⅲ. 園運営の状況

(1) 保育時間

午前7時15分～午後7時15分

(延長保育時間 午後6時15分～午後7時15分)

(2) 保育内容

- ・保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- ・「興育」の考えに重点を置き、より多くの体験、感動から子どもたちが学ぶことを大事にした運営を心がけた。
- ・年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ・外部講師による体操教室やリトミック、英語の指導を受けながら、日々の保育の中で子どもたち一人ひとりが運動や音楽に興味を持ち楽しんで取り組むことができるよう心掛けた。
また、体操教室、リトミックの保護者参観を行い、保護者の方々に子どもたちの成長ぶりや楽しんでいる姿を見て頂く機会を設けた。
- ・恵まれた環境を生かして、園外散歩の機会を増やし、自然を取り入れて遊ぶことで四季の移り変わりを体で感じ、感性を磨くことにつなげることができた。

(3) 外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	毎週火曜日 年間30回
リトミック教室	隔週木曜日 年間24回
英語教室	毎週水曜日 年間30回

(4) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(5) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・市販のものは極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。
（おやつについても手作りにこだわった。）
- ・毎月行われる給食会議や給食時に各クラスへ行き、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
- ・アレルギー児への対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方との月に1回のアレルギー面談を通じて連携を密にし、子どもにあった提供を行った。
- ・プランターや畑での野菜栽培に取り組み、保育室で観察したり製作活動に使ったりして身近に食材を感じることができた。また様々な食育を通して食に興味を持ち、食べたいもの、好きなものが増え自然の恵みに感謝する心を育てることができた。
- ・「お弁当箱」の日を設け、持参したお弁当箱で食べる事通じて食に関する楽しさを身につけることができた。
- ・給食レシピを配布することにより、家庭での献立や味付けなどの参考にして頂くことができた。
- ・その他、芋ほり、みかん狩り、クッキングの日、お箸の使い方指導、野菜の皮むき体験など、給食室と保育現場メンバーと協力し、知恵を出し合いながら食育への積極的取り組みが行われた。
- ・3月に年長児がまた食べたいと思う給食を献立に取り入れたリクエストメニューを実施した。
- ・離乳食については園と家庭とで連携をとり、一人ひとりの発達に応じた給食提供を行うことができた。

Ⅳ. 子育て支援

- ・個別面談や連絡ノート、普段の会話から育児、食育などに対する保護者の声に耳を傾けアドバイスや励ましを行った。
- ・地域の方との交流の場として子育て支援「すくすくの会」を開催した。子育て世代の方の憩いの場になるよう園庭やホールを開放し、遊びの提供や子育ての悩みや気持ちを共有する場を設けた。

Ⅴ. 健康管理の実施状況

(1) 児童

- ① 小児科
年2回（9月、3月）園嘱託医による健康診断を実施した。
- ② 歯科
6月に園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

- ① 定期健康診断
年1回、健康診断を全職員に実施した。
- ② 検便
毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を全職員に実施した。
10月～3月は対象職員に「ノロウイルス」の検査も実施した。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

月1回、いろいろな場所からの出火を想定して避難・消火・通報訓練を実施した。
また地震を想定した防災訓練も実施した。

(2) 防犯訓練

年間3回に分けて不審者出現を想定した防犯訓練を設置してある防犯用道具、110番通報装置を用いて行った。
不審者園内侵入など考え得る様々な場面、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。

VII. 地域交流など

- 地元小学生の「町探検」の受け入れ
- 地元中学生の「職場体験」の受け入れ
- 介護施設プレゼント交換

令和6年度しんほそぐち保育園事業報告書

保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（ひとり立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています

「つよく」*我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）

*健康増進、健康な体づくり

*自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」*心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」*ココロの輝き

*何か一つでも好きで夢中になれるものを見だし、探究心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

1・保育園の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和7年3月31日園児数）

	つばめ (0歳)	こだま (1歳)	ひかり (2歳)	あさひ (3歳)	のぞみ (4歳)	のぞみ (5歳)
定員	6	12	12	10	10	10
在籍数	6	12	12	12	12	12

(3) 職員数

・園長 1名 主任 1名 保育士 13名 ・栄養士 2名

・保育補助 2名

・体操教室講師（外部） 1名 英語教室講師（外部） 1名

・委託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計23名（令和7年3月31日現在）

(4) 職員会議・その他会議の開催状況

・定例職員会議（月1回実施）

各クラスより、クラス状況報告（事前会議シート配布・他追加事項の報告のみ）

委員会活動、係より報告事項

議題に沿って進行（時間の短縮、効率的に議題によっては各自の意見を事前に提出、まと

めを会議中に行う)

会議の時間帯は、日中人員の多い時間帯に行っている。

- ・リーダー会議（基本、月1回実施）議題が無い場合は無し。
議題により、参加者は様々。若手職員にも、発言力を生かす機会とし、会議を行っていった。また、限られた人数の参加になる為、事前に議題に沿った各自の意見を収集しまとめていった。会議に参加した不参加の職員に伝達事項を怠らないよう気を付けていった。
- ・クラス会議（月1回実施）
保育の振り返り、子どもの様子、次月の課題、行事に関する事など、しっかりと確認し進めていった。必用に応じて、主任も参加。クラス内の問題点や課題等を担任保育士と話し合ったり助言したりし、より良いクラス運営に繋がるようにしていった。
- ・給食会議（月1回実施）
給食職員、園長で実施。
先月の振り返り、次月の計画、確認事項をしっかりと行った。
済聖会給食会議で決定した事の中で、園全体に係ることはその都度、給食先生より職員に発信し、全職員周知できるようにした。
- ・その他
委員会、係りの活動を一覧表にして見える化したことにより、それぞれが確認しながら声掛けし、進めていくようにした。
- ・園の運営、その他職員育成等、その都度、主任・園長で話し合う機会を多く設けていった。

(5) 研修会、勉強会の取り組み状況

- ・ZOOM研修、外部研修共に予定通り参加することが出来た。
研修への意欲は様々である。来年以降、必用に応じて若手職員の学びの場を多く設けられるようにしていきたい。
名古屋市主催の研修は、研修概要をそれぞれが把握し、自己申告制を取り、自身が必要とする研修を受講できるようにした。また、キャリアステージに合せた研修講座（ZOOM）に参加し、それぞれの分野で学んだことを実践し、継続していく。
*月1回の職員会議で研修報告有
- ・常勤、非常勤を含み、3グループに分かれAED講習、エピペン研修、SIDS研修を毎月1回実施した。各回、グループで事故事例を想定し、役割分担を行いながら進めていった。
- ・法人取り組み項目の「保育語ろう会」では、園を代表して、若手職員に主体性保育についての学びに参加。他園での取り組み方や他園の施設長との保育についての学びを深め、職員会議で発表、共有した。学びをクラス内で取り組み、参加した保育士の保育への考え方も少しずつ良い方向へと変わってきている。

2. 令和6年度 園目標・運営方針

<園目標・方針>

- ・個々の安全管理に対する意識強化
- ・防災訓練への意識向上
- ・子どもが主体的に活動できる環境設定
- ・子どもについて語り合うことを楽しむ
- ・マナー化からの脱却

- ・地域との連携強化による子育て支援の実施
- ・地域交流活性化

<園目標・運営方針への取り組みについて>

- ・年齢別チェックリストでは、チェック項目の見直しをしたことでしっかりと重要な箇所のみチェックするようになり、安全面に対する意識が更に向上した。
- ・環境設定に関しては、職員のクラス配置が大きく変わったことにより、観点も変わり新たな気づきと改善点に向けての話し合い、実行ができた。
- ・大人の姿が子どもに反映されていることが分かり、子どもを危険な状態にしないよう、安全面への配慮を今一度検討した。また保護者への協力も呼び掛けた。
- ・避難訓練の反省では、個々の反省を記録として残し、職員間で共有した。
- ・園庭での環境設定として、柵を購入。遊びの範囲を決め、それぞれの遊びを保障していった。
- ・限られた場所をうまく利用し、それぞれの活動が時間内しっかりと取り組むことが出来た。
- ・お昼の休憩時間を通して、職員間で子どもについて語ることは継続されている。
- ・新たな人的環境下で、今までのやり方に捉われず、新たな考え方で取り組む姿が見ら保育の仕方が工夫されていた1年だった。
- ・連携企業や、近隣大学との連携を図り、充実した地域子育て支援への取り組みができた。園庭開放日も設けたことで、乳児クラスと活動を共にし、地域の方には園の雰囲気や保育者の子どもへの関りを見てもらう機会となり、その後の入園にも繋がった。
- ・老人ホームとの連携は年4回ではあったが、快く年長児を受け入れてくださり、双方にとって良い刺激になった。子ども達には老人を労わる気持ちを育むことができた。
- ・高校生ボランティア体験日を設けることが出来、学生の将来への希望を与えるきっかけ作りにも協力できた。

3. 保育実施状況

(1) 保育時間

午前7時～午後7時（月～土）

(2) 保育内容

- ・ホームページによる、園内見学のご案内を定期的に行った。
- ・Facebookにて、保育の様子を発信。(Facebook利用者以外も閲覧できるよう園内に掲示)日々の保育内容を保護者、外部の方や園見学の方に知ってもらうことができた。
- ・乳児、幼児共に限られた時間内で個人懇談会を実施し、保護者と子どもの育ちを共有し、連携を図った。
- ・気になる子への配慮として、担任保育士と十分な振り返りを行い、個別で保護者対応をする機会を設けた。子どもの育ちに係る部分で、保護者の思いを聞いたり、園での子どもの様子、保育者の関り等、しっかり保護者にお伝えしたりし、時間をかけて子ども理解へと繋げていった。
- ・子どもたちの「生きる力を育む」について、各クラス振り返りを行い、年度途中でクラスだよりに掲載。保護者対象とした、子どもの発達を理解することへと繋げていった。
- ・3、4、5歳児クラスにて体操教室の実施により、体を動かす楽しさを感じ、味わう事ができた。また、体操参観を設け、希望者のみ、限られた時間内で子どもの体操教室への取り

組みを観ていただいた。(※)

- ・3、4、5歳児クラスにてNOVA英会話教室を実施。外国人講師と楽しく簡単な英語に触れながら無理なく進めていった。(※)
- ・名古屋市消防局主催による「おもちゃ花火教室」に年長児参加。
花火の正しい遊び方を学んだ。
- ・各クラス子どもの成長段階に合せ、環境の見直しを徹底し、物の配置や子どもが十分に遊びこめる環境作りを定期的に行った。特に、加配児のパーソナルスペースの確保として、子どもの特徴を捉え、集団生活で必要なことへの取り組みの妨げにならないよう、その都度検討し、環境設定に努めていった。
- ・年度の後半に、リトミック講師の資格がある保育補助の職員へ依頼し、活動の中で乳児クラスのみ、リトミック指導を行った。

(※) 外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	毎週火曜日 年間30回
体操参観	年2回 11月に実施
英語教室	毎週金曜日 年間30回

(3) 給食・食育への取り組み

- ・離乳食は「たべたよノート」を元に、保護者と連携を図り、個々の成長に合わせて移行していった。また、進まない園児に対しては、担任保育士より定期的にお声掛けし、子どもの食の大切さを丁寧に伝えていった。
- ・各クラスの保育者が月齢に合わせた食育の提案をし、栄養士と連携を図り、食育活動を行った。
- ・クッキングでは、作る楽しみを知り、食への関心を深めていった。
- ・自園栽培にて野菜栽培、稲作りに取り組み、収穫までの工程を子ども達自らが体験し、様々な食材に触れ、生長を間近で感じることで食への感謝と自然への興味につなげていくことが出来た。また、育てたものを遊びの中で使用し、楽しむことが出来た。
- ・基本的に和食中心とし、洋食、中華などバラエティに富んだメニューの実施、また誕生会や季節のメニュー、世界の料理、行事食等を取り入れ、四季と文化を五感で感じられるような工夫を行った。
- ・月1度「お弁当の日」を設け、家庭から持参したお弁当箱に職員が盛り付け、食への意欲、関心へと繋げ、行事の季節によりアレンジを加え実施。
- ・食物アレルギー児への対応では、代替え食での対応。保護者、保育者、栄養士の3者で連携を取り、徹底した管理を行い、引き続き誤食、誤飲ゼロで一年過ごすことが出来た。
- ・箸の正しい使い方について遊びを交えながら学べる工夫をした。食事のマナーは保育者を中心とし、各年齢に合わせての導入方法で行っていった。
- ・季節に合わせたPOPづくりを行い、子ども達が食に関して興味を持てるよう貼り出しを行った。また、親子でのコミュニケーションにも繋がっていた。
- ・カレーの具コンテストでは、どういった食材が合うのかを子ども達自らが考え、料理には様々な食材が使われていることを知る機会を設けることが出来た。
- ・味噌作りでは、味噌の変化を定期的に子ども達が見られるよう、1階にディスプレイした。

(4) 職員体制、職員育成への取り組み

- ・0歳児クラスは、夏にクラス担任1名産休に入ったため、代替に非常勤保育者で担任としてクラスを任せることとなった。一緒に組んでいた新人保育者が困らないよう、周りの保育者の力も借りながらクラス運営を行っていった。
- ・自己啓発活動表（個々の目標を明確にし、スキルアップのための計画、実行、評価、改善を行う）を用いて、園目標から個々の目標を立て、前期、後期、1年の振り返りを行った。（職員面談にて共有）
課題が明確になる事で、意識しながら保育を進めていくことが出来た。また、自分の気づき、他者からの気づきを知ることにより、新たな課題に繋げることが出来た。
- ・年度の後半で、非常勤保育者の人数が増え、手厚い保育が出来た。

(5) 安心、安全対策、防災関係

- ・危険に繋がる事への危険予知力向上のため、引き続き、気づきのメモを行い、各自の気づきを全職員周知し、子どもの安全に努めていった。
- ・園長又は主任が朝の点呼を行い、出席状況を確認、WBにて掲示。全職員が把握できるようにしていった。連絡無しで登園していない園児は、園から保護者へ連絡を入れ、園の取り組みへの理解を保護者に伝えた。
- ・午睡時間は、定期的に見回り、子どもの体制等気を付けることを職員に再度声掛けし、安全な環境下で子ども達の午睡時間の確保を行っていくようにした。
- ・避難訓練、不審者訓練共に様々な訓練を想定して行い、自分の身は自分で守ることを学んだ。不審者訓練では、行政に依頼し、訓練に参加して頂いたり、防犯に関する話を子ども達に向けてしていただいたりした。
- ・9月総合避難訓練では、避難食の実施、提供を行った（災害時の炊き出し方法）
避難リュックの中身を子ども達に見せ、避難時に必要な物への理解を深めていった。
- ・避難訓練、不審者訓練実施後は各自の振り返りを行うことを徹底した。
- ・交通安全指導、不審者訓練共に自治体の協力を得て、防災教育を行った。
- ・園だよりや送迎時に口頭で保護者に伝え、子ども達を守る為に保護者と連携を図っていった。
（駐車場・施設内・園庭）
- ・他園の事故報告書を全職員周知し、より、安心安全保育への意識を高めていった。
- ・災害時における園児の安全確保として、保護者と連携をスムーズに行うための訓練を実施した。

(6) 健康管理の実施状況

1. 児童

- ・年2回 内科健診実施（3月・9月）
- ・6月 歯科健診実施
- ・毎月身体測定を実施し、保護者へ報告

2. 職員

- ・定期健診診断（年1回全職員対象に実施）
- ・検便（月1回赤痢・サルモネラ菌・ノロウィルス・病原性大腸菌検査の実施）
- ・インフルエンザ接種の実施

(7) 地域交流

- ・外部地域子育て支援「きらきらの会」を今年度から再開。
企業、近隣大学との連携を図り、地域の方へ子育てに関する情報提供や、在園児との関り

を持っていただく機会を設けていき、園を知ってもらうことが出来た。

- ・ 小学校 PTA 主催、安全駆け込みステッカーの貼り出し。園の子どもの安全を守ると共に、地域の子ども達の安全を守る事への協力を行う。
- ・ 就学児童受け入れ校との連携を図る為、近隣施設との交流を行った。(名古屋市立鳴海東部小学校) 小学校に就学する意欲が高まり、年長児にとってとても良い機会となった。
- ・ 年長児の就学先へ、担任より電話連絡を行い、子ども達の姿や園での配慮等を伝えた。

●年間スケジュール
(4月～9月)

月	行事	保護者参加行事
4月	1日(月)～5日(金) 希望保育 慣らし保育 8日(月) 始業式 17日(水) 誕生会 25日(木) 避難訓練	6日(土) 入園式(新入園児のみ)
5月	1日(水)～衣替え移行期間 15日(水) 誕生会 23日(木) 避難訓練 30日(木) 不審者対策訓練	10日(金) 親子遠足(3～5歳児) ※0～2歳は通常保育 個人懇談会 2歳児 29日(水)～5月31日(金)
6月	1日(土) 衣替え 6日(木) 歯科健診 12日(水) 誕生会 20日(木) 避難訓練	個人懇談会 0歳児 5日(月) 6日(火) 1歳 7日(水)～9日(金) 17日(土) 保育参観(3～5歳児)
7月	1日(金) 水遊び開始 午睡開始(4・5歳児) 2日(火) プラネタリウム見学 (5歳児) 5日(金)七夕会・誕生会 11日(木) 避難訓練 27日(土) 夏のお楽しみ会(5歳児)	
8月	10日(土)～17日(土) 希望保育 21日(水) 誕生会 22日(木) 避難訓練 30日(金) 水遊び終了 午睡終了(4,5歳児)	
9月	2日(月) 総合避難訓練 5日(木) 内科健診 11日(水) 誕生会	

(10月～3月)

月	行事	保護者参加行事
10月	1日(火)～衣替え移行期間 9日(水)誕生会 17日(木)避難訓練 24日(木)不審者対策訓練 30日(水)ほいくまつり(5歳児)	19日(土)運動会 午前：乳児クラス 午後：幼児クラス
11月	1日(水)誕生会 14日(木)避難訓練 25日(月)～27日(水)乳児作品展 28日(木)～30日(土)幼児作品展	5日(火)・12日(火) 体操教室参観(3～5歳) ※自由参加 個人懇談会 3歳児 27日(水)～29(金)
12月	7日(土)避難訓練 20日(金)クリスマス会・誕生会 21日(土)～28日(土)希望保育 29日(日)～31日(火)年末休園	個人懇談会 4・5歳児 2日(月)～6日(金) 14日(土)乳児保育参観
1月	1日(水)～3日(金)年始休園 4日(土)～7日(火)希望保育 9日(木)避難訓練 22日(水)誕生会	
2月	3日(月)節分 6日(火)不審者訓練 19日(水)誕生会 21日(金)引き渡し訓練 27日(木)避難訓練	22日(土)生活発表会 (3・4・5歳児)
3月	3日(月)ひな祭り会・誕生会 6日(木)避難訓練 10日(月)お別れ会 13日(木)内科健診 19日(水)お別れ遠足(3～5歳児) 24日(月)～31日(月)希望保育	22日(土)卒園式(5歳児のみ)

令和6年度 事業報告書

ブライイト保育園 横浜佐江戸

1. 保育園の概要

(1) 所在地：横浜市都筑区佐江戸町 2089-1

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

(3) 令和6年度の園児数（想定）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	8	10	10	10	12	55

(4) 職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	事務	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	8			1	1		12
非常勤			7	0	1	2		2	11

(5) 事業年度

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(6) 開園時間

平日 7:00～20:00

土曜日 7:00～18:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
午後	クラスと調理室から1名	毎日
職員会議	正職員	月1回
非常勤職員	園長、主任、非常勤	年2回
運営	園長、主任	随時
リーダー	園長、主任、乳・幼児リーダー	月1回
係	担当	随時

行事	担当	随時
乳児会議	主任、リーダー、乳児担任	月1回
幼児会議	主任、リーダー、幼児担任	月1回
給食会議	正職員	月1回
園内研修	全職員	随時

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組み

個別に目標を持ち、責任ある役割を担うことでひとり一人がスキルアップしていく。

→個別目標を立てたことで、意識することはできたが新たな課題を見つけスキルアップするまでには至らなかった。

(9) 小学校、行政、地域との連携

都田西小学校との年長交流、幼保小との研修参加、療育利用児についての情報交換など連携が取れるようにする。

→外部との連携はとれたと思うがそれを園内での共通認識までには至らない。園での報連相を強化する必要がある。

2. 保育目標

子どもたちの生きる力の基盤を作る

3. 今年度の重点的な取り組み

基本的な事（園での決まり）からの見直し、情報の共有の徹底を行うことでひとり一人のスキルアップにつなげる。

社会人としての意識付け

園のルールにおいて、全職員で共通認識を図る

保護者支援（保育士としての専門性を活かし助言・園庭開放を行い育児に関する情報提供や育児相談を行う。）

→しおりの読み合わせなどで情報の共有を行ったが、認識にずれがある為さらに細かい部分を日頃から話し合える環境を作る必要がある。

保護者支援について対応に個人差がある為、研修などで専門性を学ぶ。地域支援においては保育士不足ということもあり、十分に行うことができなかった。

人員確保が優先と考える。

【ブライツ保育園大阪谷町 令和6年度 事業報告書】

1. 保育所の運営

(1) 定員 70名

(2) 年齢別入所児童数（令和7年2月1日現在）

夢（0歳）	虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
8名	12名	12名	15名	15名	15名	77名

(3) 職員数

- ・園長（1名） ・主任（1名） ・保育士（12名）
・パート保育士（3名） ・支援員（0名） ・保育補助（0名）
- ・調理（管理栄養士）2名 ・パート調理士（2名）
- ・嘱託医（内科1名・歯科1名） 計 23名（令和7年2月1日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進の為、随時必要な会議を執り行う。

- ・職員会議（毎月） ・給食会議（毎月） ・行事会議（諸行事前後）
- ・ミーティング（1/週） ・月案会議（各クラス毎月） ・乳・幼児部会（毎月）

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）のための取組み状況

- ・各種団体の開催する研修会への参加
 - 「気になる子どものはったつと特性の理解」
 - 「子どもの育ちを支える 0～2歳児の運動遊びとは」
 - 「より良い関係を築くコミュニケーション 新人研修」
 - 「食物アレルギーについて」
 - 「コミュニケーション能力のUP 主任研修」
 - 「子どもが主体的に遊ぶためには」
 - 「保育の質と主任保育士の役割について」
 - 「食品衛生講習」
 - 「幼児保育 主体的な遊びを支える保育環境」
 - 「食物アレルギー対応について」
 - 「育ち合う関係づくりを考える」
 - 「感染症とその対応について」
 - 「マネジメント力とリーダーの人間力の向上を目指して」
 - 「特定給食講演会」
 - 「保育リーダー研修」
 - 「家庭支援の必要性」
 - 「乳児保育研修」

「事例検討 ～自園の課題や職員間のエピソードを中心に～」

「生きる力を育む保育」

「フォローアップ研修」

「乳幼児が楽しく体を動かすために」

以上の研修については、毎月の職員会議において研修報告をし、職員全員が共に学ぶ場を設けた。

・園内研修（法人アカデミー研修など）

日々の保育を職員一同で、「当たり前」にならずに見直すことができた。

子どもの主体性を大切にしたい保育を今後も提供できるようにする。

今後の保育の向上に繋いで行く。

2. 安全管理・防災・防犯

（1）避難訓練

火災・地震時の緊急避難の訓練を、時間帯・曜日等々変えながら実施。

当初、階段での避難が恐くて泣く子どもも多かったが、回を重ねる毎に慣れ、落ち着いて取り組めるようになって来ている。

第二次避難場所（TSK ビル横空地）、第三次避難場所（中大江公園）までの避難の練習や、消防署より水消火器をお借りして、実際の消火器の使い方を職員が子ども達に見せ、使用法・使用目的を知らせる。

（2）不審者対策訓練

警察の防犯担当者にお越し頂き、当園での対策についてご指導頂く事で、日頃から職員が何に気を付け、どう行動するべきかが見えてきた。

3. 処遇

（1）保育時間

午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分

（延長保育時間 午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分）

（2）保育内容

ブライト保育園大阪谷町の保育について「乳児の担当制保育」「幼児のテーマ保育」を職員間で共通の認識として保育を進めている。保育園は人格の基礎部分の安定を培う場であり、子ども達の健康・発達の保障を委ねられていると考える。保育士は子ども達の年齢の発達の特徴を深く知る事、その上で一人ひとりの発達のペースを守って行くことが必要であると感じ、職員間で話をしつつ日々の保育を進めてきた。

集団の中に 10 時間以上居る子ども達も多く、生活体験の乏しい子ども達に、保育園で様々な生活を保障することも大きな重要な点として取り組んできた。

3 歳・4 歳・5 歳（幼児）のクラスでは、年齢に応じた粗大運動も取り入れつつ、

リズムの模倣、身体を動かす体操の時間を設け、また英語活動も引き続き取り入れた。

0歳・1歳・2歳（乳児）は育児担当制保育で、子ども達一人一人の発達や課題を細部にわたり理解し、必要な関わりや手立てをもって計画的に保育を進め、また、幼児3クラスは課外授業の英会話教室や体操教室も引き続き継続し、子どもの育ちにとっても保護者にとってもまた保育士のスキルアップも含めた保育との両立を更に検討していきたい。

- (3) 実施した特別保育事業
延長保育促進事業・特別支援保育

- (4) 実施した主な行事
別紙「年間行事予定表」参照

3. 給食の実施状況

- ・手作りにこだわり、季節・行事を感じられる和食中心の献立を実施した。
- ・給食で食べた野菜（人参・大根・さつまいも・じゃがいも）の切り落とし部分を水栽培し、葉の成長を観察する事で、素材への興味・関心を育てる。
- ・アレルギー児には豆乳・マヨドレ等々を使用することで、他児と同じ物が食べられる喜びを感じ、食べる事への意欲に繋いで欲しいと願っている。
- ・献立表・給食だよりを月1回発行
- ・食育だよりや人気のレシピを発行した

4. 子育て支援・保護者支援

- ・乳児には離乳食の進め方等、保護者・担任・栄養士と一緒に話し合い、進めて行った。家庭で提供している物が、子どもの成長に応じた物なのかどうかもアドバイスした。時には離乳食の段階を戻し、子どもの食への意欲を高めて行ける様にする。
- ・保育参観・懇談・各行事を通して、子ども達の小さいが確実な成長を保護者に伝え、成長の喜びを共有するようにした。乳児クラスの保育体験が好評で来年度も継続する。職員間でもクラスを越え、子ども達の変化を話、担任でなくても気付いたトピックを保護者に伝えるようにした。
職員皆が子どもの姿を見ているという安心感を抱いて頂けたらと思っている。

5. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科検診

年2回（6月、12月）園囑託医による健康診断を実施した。

② 歯科検診

年1回 6月 園囑託歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

① 定期健康診断

年 1 回 全職員健康診断を実施した。

② 検便

毎月「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」

10月より「ノロウイルス」の検査も追加し、専門業者に依頼し実施。

【ブライト保育園東京入船 令和6年度事業報告】

1. 保育所の運営

(1) 定員 34名

(2) 年齢別入所児童数（令和7年3月1日現在）

虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
8名	6名	3名	4名	5名	26名

(3) 職員数

- ・園長…1名
- ・保育士…5名
- ・パート保育士…3名
- ・調理（栄養士）…1名
- ・嘱託医（内科）…1名

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進の為、随時必要な会議を執り行う。

- ・職員会議…毎月
- ・給食会議、献立会議…毎月
- ・行事会議…諸行事前後
- ・昼ミーティング…週1回

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）のための取り組み状況

- ・研修「そのおたより読まれていませんよ（6・5）」
- ・研修「不適切保育から先生を守る（6・12）」
- ・研修「就学前教育と小学校教育の連携・接続」（6・18）」
- ・研修「救命処置について」（6・25）」
- ・研修「ふれあいあそび 基礎体力づくり」（7・10）」
- ・研修「乳児期の保育～生活習慣の援助と関わり～」（7・12）」
- ・語ろう会「子ども主体保育について」（7・23）」
- ・研修「救命救急・AED訓練」（8・1）」
- ・済聖会アカデミー「給食は完食を目指すの？」（8・31）」
- ・研修「不適切保育」（1・6）」

(6) 進級説明会の実施

各クラス順次「保護者面談」と併せて実施。

2. 安全管理・防災・防犯

(1) 避難訓練

火災・地震時の緊急避難の訓練を、時間帯・曜日等々変えながら実施。消防署員にも園内に入って頂き、実際の訓練の様子を確認していただく。その上で、アドバイスを頂いたり、園外での消火訓練の実施等を通してより一層、職員が安全に関する意識を強める事ができた。また、地震に伴う津波警報が出た時の対応についても垂直避難をするために、ビルの上層階のテナントに避難をさせてもらえるように話をし、避難時の受け入れの許可を頂くと共に初めて実施した。

今後も継続的に訓練を行っていく予定でいる。

(2) 不審者対策訓練

玄関に不審者が現れたとの設定で、職員が対応訓練を行う。その間園児は他の職員の誘導で外階段より戸外へと脱出する。避難経路も普段通らない不審者が外に出てきても目につきにくい道を選び避難をした。

※ビルインの入船の避難路は玄関と外階段の2か所で、2方向避難をすると合流をするまでの数分間、お互いが全く見えず、何かあってもヘルプに行くべきかの判断がつけにくい為、職員間の連絡ツールとして「トランシーバー」を用意している。しかし有事に使用する意識が強く、普段から触れて使用してみるという意識が薄いので、訓練時以外でも慣れる為に、また、どこまで電波が届くかの把握の為に散歩時、携帯し各職員が使えるように意識的に声を掛け練習をしている。

3. 処遇

(1) 保育時間

午前7時30分～午後7時30分

(延長保育時間 午後6時30分～午後7時30分)

(2) 保育内容

- ・乳児と幼児で大きく二つに分けて異年齢保育をベースに保育を行っていった。しかし乳児クラスでは新入園児の泣き声や意図しない動き、落ち着かない雰囲気に進級した2歳児が過敏に反応し、家庭での荒れた言動、母親への激しい後追い、保育園への行き渋り、蕁麻疹等の変調が見られる子どもも出てきた。無理に合同で保育をすることは逆効果と考え、クラスを分け、落ち着いた環境と慣れた保育士で対応していくと2か月程で落ち着き安心して過ごせるようになった。そこからまた、少しずつ様子をみながら合同保育をすすめていくと、その後はお互いに距離感を掴み、一緒に遊んだり、世話をしたりする姿も見られるようになった。常に子どもをよく見て、異年齢保育にこだわり過ぎずに子どもの様子に合わせた柔軟な対応や各学年に合わせた活動をしていくこと

が大切と考え、それぞれの子どもにあった保育を提供できるようにしていきたい。

しかし、異年齢保育を行う中で、子ども同士で自然に補い合う姿、年長児のすることを真似し挑戦する姿、「出来ない」という劣等感を持たずに取り組み、出来た時に年少児に「すごい」といってもらうことで、達成感を持つこともできたのはよかった。

- 運動会、発表会は、祖父母も応援に来て競技に参加したりして盛り上がり、子ども達も嬉しそうにしていた。実際にみていただく事で保護者の反応を肌で感じ、子どもなりに感じる物があり良い経験となった。
- 夏祭りは、昨年に続き地域の方にも広くお声がけをすると共に、子ども達も地域の祭りに参加していけるようにと近隣地域の祭りで踊られている踊りを町内会の方に教えていただき、プログラムに取り入れた。当日は町内会の方も来てくださり一緒に踊り交流ができた。また、その後の地域の祭りで子ども達が踊る姿も見られた。一般の参加者も地域の掲示板等を見て来てくださり、一緒にゲームをしたりして楽しむことができた。幼児クラスは地域との交流にも積極的に参加をした。町内会のクリーンデー、防災デー、火の用心の声掛けに参加をし、普段接することの無い大人と活動をしたり褒めてもらう事で、普段とは異なる達成感を感じる事ができたようでよい経験となった。
- 音やリズムに親しみ、全身で表現する事を目的としダンスの時間を設け定期的に取り組んでいった。その4月からの取り組みを夏祭りや運動会で無理なく表現として発表できた。また、朝等に行くと乳児も自然と参加し楽しんでいるのも良かった。今後も力を入れていれていきたい。

(3) 実施した特別保育事業

- 延長保育促進事業
- とうきょうとすくわくプログラムを利用して『香育と色彩表現』を講師の先生をお迎えして実施した。香りを通して子ども達が今までとは違う驚きや心地よさを五感を使って感じ、目に見えないものを表現する楽しさ表現力を育むことを期待し取り組んだ。子ども達にとっては普段できない体験であったとともに、散歩の中でも「香り」を意識するきっかけとなり、活動の幅も広がる良い活動であった。
- とうきょうとすくわくプログラムを利用して『カブラで遊ぼう』を講師の先生をお迎えして実施した。カブラという積み木を使用して子ども達が思い描いたイメージを形にする。その中で集中力や柔軟な思考、創造性を育むことを期待し取り組んだ。遊び方を教えていただいたことで「自分もやってみたい」という意欲が持て、十分な量があったことで、それぞれが納得いくまで取り組めた。結果、保育室いっぱい共同で街を作ったり、そこから広がって発表会の劇に繋がったり、劇中の道具を作ったりと活動が広がり楽しめた。

(4) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

4. 給食の実施状況

- 手作りにこだわり、季節・行事を感じられる和食中心の献立を実施した。
- アレルギー児には、豆乳・マヨドレ等々を使用することで、また、パンはアレルギーの無い子と一緒に食べられるアレルギーの無い物を探しメニューによって取り入れていくことで、他児と同じ物が食べられる喜びを感じ、食べる事への意欲に繋いで欲しいと願い導入を実施した。
- 乳児は園での給食の姿を保護者に見て頂く事で、家庭との違いや友だちと共に食べる楽しい雰囲気等を感じて頂けた。保護者には、試食も一口ずつ召し上がって頂き、薄味が子ども達の健康の為に大切であることを伝えたり、食具や姿勢についても細かくお伝えする事で「なるほど」と気付いて、家庭でも取り組んでみようとする保護者の姿も見られた。
- 献立表、給食だよりを月1回発行。
- その日の食事の写真をルクミー・ドキュメンテーション「今日の給食」にて毎日送信。
- 乳児保護者向けに、使用している食材についての「大きさ」「取り入れることでどのような面の成長が期待できるか」の解説を子ども達の様子に合わせ玄関掲示し、希望のあった保護者の相談にもものっていた。

5. 子育て支援・保護者支援

- 昨年に引き続き、3歳児クラスに母親の育児困難による保護者支援が必要なご家庭のお子様が入籍しており、児童相談所、子ども家庭支援センター、中央区と状況に応じて連携をとっていた。中央区には毎月「状況提供書」の提出をおこなってきた。送迎時は保護者の様子を確認すると共に、保護者が安心して話ができるように担任と園長が主で対応し、面談をするなど子どもの安全の為に、保護者のストレス軽減のための対応をした。
- 昨年に引き続き、2歳児クラスに母親の育児に援助を要するご家庭のお様が入籍しており、児童相談所、子ども家庭支援センターとの関りを状況に応じてとっていた。送迎時には保護者が安心して話ができるように担任と園長が主で対応するなど、子どもの安全のため、保護者のストレス軽減のための対応をした。母親の入院・療養中には父親の負担軽減のため、様子を確認すると共に、面談をし延長保育や土曜保育の利用を提案していった。
- 保護者参観・各行事を通して、子どもたちの小さいが、確実な成長を保護者に伝え、成長の喜びを共有するようにした。職員間でもクラスを越え、子どもたちの変化を話し、担任でなくても気付いたトピックスを保護者に伝えるようにした。職員全員が、子ども達の姿を見ているという安心感を保護者にも、子どもにも感じてもらえたらと願っている。
- 地域の子育て中の保護者向けに「給食試食会」「栄養士による相談会」「親子参加イベント」などを開催し、子育ての不安軽減や遊びの場を提供し楽しんでもらった。

6. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科検診

1歳児 毎月1回 園嘱託医による健康診断を実施

2歳児～5歳児 年3回 園嘱託医による健康診断を実施

② 歯科検診

年2回（6月・11月） 歯科医による歯科検診を実施

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回 全職員健康診断を実施

② 検便

毎月「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」

10月より「ノロウイルス」の検査も追加し、専門業者に依頼し実施

2024年度 事業報告書

ブライト保育園 浦和美園
2025年3月31日(土)

1. 保育園の概要

(1) 所在地：埼玉県さいたま市緑区下野田509番地

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	10	15	20	20	20	90

(3) 2024年度の園児数

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	10	16	20	20	20	91

(4) 職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	8		2			12
非常勤			7	2		1	2	12

(5) 事業年度

2024年4月1日～2025年3月31日

(6) 開園時間

平日 7:00～20:00

土曜日 7:00～18:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
園内会議	園長、主任、常勤全員	適宜
処遇改善会議	園長、各クラス担任	月1回
乳児・幼児会議	園長、乳児・幼児リーダー	月1回

運営会議	園長、主任	月1回
リーダーミーティング	主任、リーダー	月1回
給食会議	園長、栄養士	月1回
誕生会会議	園長、主任、担当	月1回
行事事会議	園長、主任、担当	月1回

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組み

- ・外部研修(オンライン研修)に出来る限り参加し、専門的知識を身につける機会をもてた。
- ・施設長面談、主任面談を行ない、やりがいや悩みの共有し職場の意識向上を行なった。

(9) 地域との連携

- ・近隣の駅で「鉄道教室」に参加し、運転士などの仕事について学んだ。
- ・保幼小連絡懇談会に参加し、年長児の進学に向けてしっかりと引継ぎを行なった。
- ・子育て支援で園庭開放や保育室の開放に加え、ベビーマッサージに加えビジョントレーニングを行い地域に存在をアナウンスできた。
- ・近隣中学校の職場体験を受け入れ、保育士の仕事や園について知ってもらう機会や中学生と関わることで子どもたちにとってもよい機会になった。

2. 保育目標

- 子ども一人ひとりの成長や夢中になれるものを知ろうとする姿が職員から感じることが出来た。一方で人員不足により、今以上の保育向上を求めることが少なかったため、子どもを真ん中の軸とする丁寧な保育とはなにかを考え、子ども主体の取り組みを行なっていく。
- 子どもたちが自分で考え、友だちと共に行動する環境が年長児を中心に見られ始めている。引き続き安全管理に留意し必要な生活習慣を伝えると共に子どもにとって安心できる場所になり、一人ひとりの個を尊重する保育を提供していく。

3. 今年度の重点的な取り組み。

《年齢に応じた発達を考え、寄り添った保育の実現》

- これまでの当たり前を見直し、職員同士の保育観の違いを認識する場面もあった。その結果、保育についての意見が会議以外でも聞かれることがあり保育の質の向上や子どもを考える機会につながり寄り添った保育に近づいた一年だったように思う。しかし、それぞれの発達を理解し、主体的に保育につながったかといえばまだ職員によってはばらつきがみられる。会議や研修を通じて意識を向

けるように働きかける。

《丁寧な保育を行う》

- 子どもに寄り添い、子どもを理解しようとする姿勢はどの職員にもみられた。今後も大切にしてほしい。
- 主任が園内巡回を良く行い不適切保育防止や職員の声に耳を傾けてくれているため、小さな不満や意見はすぐに解決できている。

《安心・安全な保育を行う》

- 保育や職員間の慣れに対する注意喚起が不十分だった。会議を通して時にはしっかり伝えることが必要だと思う。
- 各種マニュアルを作成しているが中々共有できなかつたり、見直しがまだ必要であるため継続して行ない、職員が安心して対応できる環境を整える。

令和6年度ブライト保育園横浜日吉 事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和7年3月31日現在）

夢（0歳）	虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
6名	10名	10名	12名	11名	12名	61名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・保育士 11名 ・パート保育士 5名 ・保育補助 2名
- ・調理士・栄養士 2名 ・パート事務職員 1名
- ・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計 24名（令和6年3月31日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（月1回） ・非常勤職員会議 年3回
- ・各係 会議（随時） ・給食会議（毎月） ・乳児会議、幼児会議（各月1回）
- ・昼ミーティング（毎日） など

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み状況

保育所ニーズに応え、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に参加。

外部のみならず、内部においても各種勉強会（嘔吐処理研修、救命救急研修、不適切保育研修など）を実施。

II. 保育の実施状況

(1) 保育目標

年間を通して、事故もなく大きな怪我もなく無事に終えることが出来た。

今年度より子ども主体や発達にあった行事の在り方や活動の見直し、ねらいや内容を検討を行い、子どもの為の行事や活動となるような工夫を行っていった。行事では乳児参加をなくしたが、園の考え方をしっかりお伝えしたことで、保護者の方にもご理解いただくことができた。子どもたちの園での様子や成長を一緒に共有する時間が持てて良かった。

今年度は職員同士の対話を多く持てるように取り組んでいった。それぞれの保育観の違いをお互いが知り、方向性を同じようにしていけるよう、事前にアンケートを取り、話合いたいテーマを決めていった。話し合いの機会を多くとることで、少しずつ発言しやすい雰囲気やなんでも相談できるような雰囲気になったように感じる。今後も引き続き対話を大切に、よりよい職場環境を整えていきたい。

保育では、幼児クラスは子どもの様子や興味・関心により活動内容を決め、子どもたちに寄り添った活動を心がけていく。課内活動や行事への取り組みもあったが、子どものやりたいことを実現していけるよう工夫していった。

乳児クラスではゆるやかな担当制を導入。環境や日課を組み立て直していった。まだまだ理解が必要なところがたくさんあるので、子どもにとって～を第一に、安心して過ごせる環境を整えられるよう学んでいきたい。

運営については、今年度は新入職員を3名入れて下さり、人手不足が解消されたおかげで、職員のなかにも余裕ができ、やりたい保育に目を向けることができるようになった。

事務時間や園内清掃なども係りやリーダーの先生を中心に、協力して行うシステムを構築できていった。

また、リーダーmtを重ねそれぞれの役割を明確にしていき、組織として運営が進めていけるよう心がけていった。

(2) 保育時間

午前7時30分～午後6時30分

(延長保育時間 午前7時00分～午前7時29分 / 午後6時30分～午後8時00分)

(3) 保育内容

- 保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- 年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びながら発達を促せるような手作り玩具を作成した。
- 子どもの発達や興味にあった保育を心がける。
- 保育士が子ども達の声に耳を傾け、子どもの主体的な活動や子どもの相互の関わりを大切にした。
- 保育参観・懇談会を行い、日常の活動の様子を見て頂き、保護者と子どもの成長を共に喜んだ。
- 園外散歩の機会を増やし、自然を取り入れて遊ぶことで四季の移り変わりを体で感じ感性を磨き、又交通ルールなどを知らせ自分の身を守ることを学んでいった。
- 昨年度に続き、外部より体操講師をお迎えし、月2回幼児クラスを対象に体操の時間を設けた。それまで以上に、運動機能の促進は勿論、「身体を動かす楽しさ」や「危険に対する考え方」「集団で運動をする楽しさ」などを経験する事になり、子どもたちにとっても楽しみの時間とすることができた。
- 昨年度に続き、幼児クラス対象にNOVAによる英語教室の時間を設ける。英語に親しむことをねらいとし、楽しんで参加することができていた。
- 絵本の貸し出しを継続的に実施。季節ごとに絵本を入れ替え、また新しい本を増やしていき、子ども達が興味関心をもてるよう整えていった。またリクエストコーナーを設置し、絵本に興味関心を持ってもらえるよう工夫した。
一方保育の中では、引き続き、絵本を読む機会を大切にし、各クラス内の絵本や紙芝居・パネルシアターや大型絵本も増やし、お話しを楽しむ機会を増やしていった。

(4) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(5) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- インスタントやレトルト食品は極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。（おやつについても手作りにこだわった）
- 毎月行われる給食会議や給食時に各クラス巡回し、離乳食児への配慮の仕方それに伴う家庭との連携の取り方の確認や、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
- 0歳児・1歳児クラスの食具を見直し、子どもたちが自分で食べやすい食器の導入を行った。
- また、乳児・幼児会議に出席し、保育の先生と喫食状況やクッキングについて共有していった。
- アレルギー体質の子どもへの対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方と月1回面談を行い、連携を密にして提供を行った。またアレルギー除去食の提供の際は、前日の昼 Mt で全職員に周知を行い、配置の調整を行った。
- 誤飲・誤嚥事故を防ぐための取り組みや、また保育士への周知も行き、危険性を共有した。
- 各クラスで年齢に合った定期的な食育活動の取り組み（クッキングや野菜スタンプ・お弁当箱の日・きのこくらべ等）の計画・実施を行った。

- 年長クラスでは三大栄養素を学び、食べ物についての興味関心を持つきっかけとなった。
- 給食や食事についてわからないことをいつでも聞いてもらえるよう「質問箱」を設置し都度応えるようにした。
- 園の食育指針を作成し、職員の給食に対する考え方の方向性を統一していった。
- 年度末に給食アンケートを実施し、回答をまとめ掲示を行った。

IV. 子育て支援

- 春の懇談会では保育の内容を説明し、担任や保護者同士の懇親を深めることができた。
- 保育参観は場所に限りがある為、1日の参観人数を制限し、日常の保育の様子を観て頂くことができた。また試食会も同時に行い、子どもたちが食べている味を知ってもらうことができた。
- 個別面談を実施。面談を通じて、育児・食育などに対する保護者の声に耳を傾け、園児の成長の喜びや悩みや不安を共有することが出来た。
- 年度末の懇談会では、来年度に向けて重要事項変更点を中心に全体会で説明し、その後各クラス担任と保護者と写真や動画を使って1年間の振り返りを行った。
- いつでも育児について、また、保育園に関して、疑問・要望を受けることが出来るよう「意見箱」を設置。
- 年度末にはアンケートを実施し、質問や要望・意見等をまとめて掲示を行った。

V. 健康管理の実施状況

- ① 内科
年2回（6月、11月）に、園囑託医による健康診断を実施した。
- ② 歯科
年2回（7月、12月）に、園囑託歯科医による歯科検診を実施した。
- ③ 尿検査
年1回、3歳児以上が実施した。
- ④ 視聴覚検査
年1回、3歳児が実施した。
- ⑤ 職員定期健康診断
年1回、健康診断を正職員に実施した。
- ⑥ 検便
毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」と、「o-157検査」も全職員に実施した。
10月—3月は、「ノロウイルス検査」を給食室・0歳児クラスの職員は行う。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

月1回、いろいろな場所で、地震や火事を想定して避難・通報訓練を実施した。
また併せて、消火訓練も月に1回行った。
広域避難所までの避難ルートの確認、訓練を実施した。
浸水警戒区域となっている為、浸水の訓練を実施した。
引き取り訓練を行い、保護者の方と災害伝言ダイヤルやお迎え方法を確認した。
月1回避難訓練の実施報告に併せて、保護者の方へるくみーアプリの接続状況を確認した。

(2) 防犯訓練

年2回、不審者出現を想定した防犯訓練を実施。
考え得る様々な場面（園内外）、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。
合言葉や職員の動きを確認した。

(3) 消防署立会い訓練

消防署の方に避難訓練を見て頂き、アドバイスを頂く。
併せて職員による水消火器を使用した消火訓練や立会いのもとでの通報訓練を実施。
また、園児は消防車との記念撮影や防災教室（幼児クラス対象）を実施した。

(4) 救命救急講習会（令和7年3月1日（土）実施）

職員全員が参加し、NPO 法人シーボウル海の教室の講習を受ける。
【テーマ】赤ちゃん・子どもの救命/応急手当講座
～1分1秒を争う緊急事態の手当～

- 乳児・小児の心肺蘇生法（実技）
- AEDの使い方（実技）
- シュミレーション訓練

VII. 地域交流など

- 今年度は毎週水曜日に地域交流の絵本の貸し出しを行った。併せて6月園庭開放を行った。
- 自治体主催のラジオ体操に参加し、地域の方との交流を行った。
- 地域の方に向けて親子体操教室/親子クッキングを行った。

令和6年度ブライイト保育園横浜綱島 事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 60名

(2) 年齢別入所児童数（令和7年3月31日現在）

夢（0歳）	虹（1歳）	月（2歳）	星（3歳）	宙（4歳）	華（5歳）	合計
6名	10名	9名	7名	8名	12名	52名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・保育士 9名 ・パート保育士 10名
- ・調理士・栄養士 3名
- ・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計 25名（令和7年3月31日現在）

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（月1回） ・非常勤職員会議 年3回
- ・各係 会議（随時） ・給食会議（毎月） ・乳児会議、幼児会議（毎月）
- ・昼ミーティング（毎日） ・1on1MT（年4回）

(5) 研修会、勉強会（人材育成、保育の質の向上）の取り組み状況

保育所ニーズに答え、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に参加。

外部のみならず、内部においても各種勉強会（アレルギー提供研修、嘔吐処理研修、新入社員研修、不適切保育研修、食育指針研修など）を実施。外部研修（特にキャリアアップ研修）にも積極的に参加し、多くの職員が学びの機会を得ることが出来た。

II. 保育の実施状況

(1) 保育目標

●年間を通して、事故もなく大きなケガもなく無事に終わることが出来た。

開園8年目となり、職員数も徐々に増員することが出来たため、前年度より自然と「残業数」の削減と、「事務時間の確保」という業務改善をすることができたことは、大きなことだと感じた。運営体制が変化したことで、職員間のコミュニケーションを密にする機会を多く持つように努めた（職員会議内容の検討、園内研修の充実、給食室との連携強化、全職員情報共有システムの確立など）。

●1対1MTを繰り返すことで、各立場での気づきを拾い改善出来た事も多数あった（衛生面、早遅番の業務の見直しなど）。

●年度後半になるに従い、気が付いて運営側に話をし、提案などしてくれる事が増えてきた。一方、職員全体にそういった風土が広がるにはもう少し時間もかかる事とも感じた。その風土を広げていくのは来年度以降の課題とも感じる。

●毎月実施する事ができた「乳児・幼児ミーティング」を後半になるにしたがって忙しさも伴い、内容が薄くなってしまった。次年度はより、テーマを両リーダーを中心に考え、皆で「保育を語る」場面を増やしていきたいと思う。

●法人重点取り組み課題である「食育指針」子どもの育ちについて園内で学び合う機会を設けることが出来た。年度初めに策定した園の「食育指針」に沿って、子ども達への給食提供などを意識して保育にあたる事ができた。そのために変更したことも多く、「楽しい給食時間」の共通認識を持ち進めた。次年度へ向けての改訂版についても改めて園内研修を実施。

●地域支援活動にも着手。年間通して計画的に実施。初回からリピートをして参加してくれる保護者の方もいた。一方年度末になるに従い、なかなか外部への発信をする機会が減ってしまった。次年度は、年間通して継続的な「地域支援」「子育て支援」に取り組めるようにしたい。

●園全体の「環境整備」について、着手に至らなかった。子ども達の「生活の場」としっかりとらえ、職員皆で「園を大切にする」という当たり前の意識をもって次年度迎えたいと感じる。

(2) 保育時間

午前7時30分～午後6時30分

(延長保育時間 午前7時～7時29分/午後6時31分～午後8時00分)

(3) 保育内容

- ・保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- ・**・興育・**の考えに重点を置き、より多くの体験、感動から子どもたちが学ぶことを大事にした運営を心がけた。
- ・年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ・保育士が子ども達の声に耳を傾け、子ども達に経験させてあげたいことを自由な発想の下保育の実践を行った。
 - ・今年度も、「英語の課内レッスン」と「体操」の外部講師をお呼びし各月2回～3回、3歳以上児対象に継続して実施。
- 特に保護者参加の行事では、多くの保護者の方々に子ども達の成長を見て頂くことが出来たため、園との距離も少し縮まったように感じた。兄弟児等へ移管しても参加を募る事ができた。より開かれた園運営を目指そうと考える。
- 保育に関しても、法人重点取り組み事項の「食」について多く考える機会を設けることが出来た。次年度も継続していきたい。
- 行事の取り組み方は、各年齢に即した内容や、参加の仕方を再検討するなど、変化もしながら運営できた1年となった。
- 「子ども主体」をテーマに進める中で、一部乳児クラスで「緩やかな担当制」の導入を始めた。「関わる大人は子どもに寄り添う」ということを念頭に展開した。関わる職員も、子どもの落ち着きを感じる事が出来た。来年度に繋げていく。

(4) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(4) 実施した主な行事

※別紙 年間行事予定表参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・インスタントやレトルト食品は極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。（おやつについても手作りにこだわった）
- ・毎月行われる給食会議で、離乳食児への配慮の仕方それに伴う家庭との連携の取り方の確認や、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を

広げるなどの工夫を心がけた。

- アレルギー体質の子どもへの対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方との連携を密にして子どもにあった食材、ミルクの使用を行った。
- ブランターを使用し、野菜栽培に取り組み、収穫した野菜をその場で洗って、給食の一品にしたりと、食体験を通して食べたいもの、好きなものが増え購入して食べるのとは一味もふた味も違う食を体験することが出来た。
- 地域支援の一環で「離乳食試食会」を実施。一番多くの参加者がいる回となった。地域の保護者の方々の興味や悩みも大きいことを感じた。

IV. 子育て支援

- 在園の保護者に対しては、各行事への参加の際に、人数制限を撤廃し、積極的な参加を促すことが出来た。
- 園見学の希望者に対しては、資料を作成し、園長が対応。園内の見学も、全クラス、中をのぞいて頂く事で、園の雰囲気を知って頂くように配慮した。
- いつでも育児について、また、保育園に関して、疑問・要望を受けることが出来るよう「意見箱」を設置し、アドバイスをしたり、園だよりや掲示をして明文化するなどの工夫をした。
- 「第三者評価」を受審。調査結果は、調査会社ホームページにて公表。

V. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科

・年間を通して全園児、年間で2回、園嘱託医による内科検診を実施した。

検診前に保護者より質問なども受け付け園を通して質問し、その返答を保護者に返すなども実施。

② 歯科

年間で2回、園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。

園内での歯磨きについては、あくまでも習慣付けがメインと保護者説明したうえで実施。

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回、健康診断を正職員に実施した。

② 検便

毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」は全職員、10月～3月のみ「o-157 検査」を給食職員と0歳児クラス対応職員（8～10名程）に実施した。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

月1回、いろいろな場所からの出火を想定して避難・消火・通報訓練を実施した。

また地震を想定した防災訓練も実施した。

(2) 防犯訓練

年2回、不審者出現を想定した防犯訓練を110番通報訓練も含めて行った。

考え得る様々な場面（園内外）、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。

VII. 地域交流など

○ 園内行事であるハロウィンイベントでは、近隣地域の方々のご協力を頂き、子ども達に楽しい時間とすることが出来た。地域交流の時間を持つことが出来た。

○ 年間通して、6月以降12月までの間で複数回、地域支援活動を実施。園ホームページを通して発信。繰り返し参加してくれる保護者の方も増えているため、来年度も継続的に実施していく。

以上

令和6年度 事業報告書

ブライト保育園 横浜松見町

1. 保育園の概要

(1) 所在地：横浜市神奈川区松見町 3-2-4

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

(3) 令和6年度の園児数（2月現在）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	12	10	12	9	12	61

(4) 職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	11		1	1		15
非常勤			4	1	1		2	9

(5) 事業年度

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(6) 開園時間

平日 7:00～20:00

土曜日 7:00～18:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
昼礼	各クラスと調理室から1名	毎日
職員会議	正職員	月1回
各行事の会議	各行事の係	行事毎
避難訓練会議	園長、主任、係	随時

乳児会議	乳児クラスのリーダー、園長、主任	月1回
幼児会議	幼児クラスのリーダー、園長、主任	月1回
クラス会議	各クラス担任、園長、主任	適時
その他の係の会議	その他の係の担当	適時
給食会議	給食スタッフ、園長、主任	

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組みの結果

1. クラス間で共通で行うことを決め、定期的に確認する。

- ・「いただきます」の挨拶（給食、おやつ） 乳児、幼児別に
- ・朝の挨拶
- ・帰りの挨拶
- ・当番活動の範囲
- ・製作物の年齢ごとの目安

⇒話し合う時間が取りづらかった面もあるが、定期的な確認はできなかった。

2. 安全に関する危機意識を常に持つ

- ・保育中は園外、園内にかかわらず、5分に1回は人数確認を行う。
- ・最悪の事態が起こることを常に想定し、その後のシミュレーションを考えながら保育する。
- ・次に起こることや、これからやりたいことを考え、見通しを持った保育を行う。
- ・SIDSは入園1か月以内に起こりやすいというデータがあるため、4月、5月は特に注意する。
- ・呼吸チェックの5分、10分、30分の時間は必ずタイマーを使って計り、胸に手を当てて呼吸と表情を確認する。
- ・近場の散歩先の経路や公園内の危険個所の確認と、年齢や保育士の人数で使える遊具の数を確認する。
- ・災害が起きた場合の、おんぶする子どもや、ヘルプに入る職員の確認をし、避難訓練で実践する。

⇒上記に関してはほぼ達成できた。

(9) 小学校、行政、地域との連携

- ・近隣の住民、会長、お店、保育所、小学校とは連絡を密にし、保育所運営に関する理解を得るように努める。
- ・散歩では積極的に近隣の方に挨拶をする。
- ・ハロウィンでは、地域と連携して取り組んでいる。
- ・園庭開放に向けて、園庭を整備し、担当を決め実施する。
- ・「あかちゃんの駅」として、授乳やおむつ替えのスペースを提供する。
- ・育児相談などの子育て支援を計画して実施していく。
- ・見学者にはレシピ本を配布し、必要に応じて離乳食や子育ての相談に乗る。

⇒園庭開放を積極的に行い参加者があった。

⇒給食試食会を開き、参加者は楽しそうであった。

2. 保育目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基盤づくりを支援する

*「生きる力」とは

- ・自ら考え、自ら行動する(考え抜く力、前に踏み出す力)
- ・我慢強さ、打たれ強さ、あきらめない気持ち、自分に負けない気持ち
- ・豊かなコミュニケーション
- ・豊かな感性、創造性の豊かさ
- ・仲間と関わる(チームワーク)力
- ・自分に対する「自信」(自己肯定感)

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体“興育”

興味・体験・感動・気づき

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする

【保育モットー】

〈つよく〉

- ★強い心と丈夫な体
- ★自分で考え行動し、生きようとするこども

〈ゆたかに〉

- ★よく食べ、よく遊び、よく眠る
- ★いろいろなことに興味をもって自分らしさを表現できるこども

〈キラキラと〉

- ★笑顔であいさつ、元気いっぱい
- ★仲間を大切に素直で思いやりのあるこども
- ★好きなこと、得意なことを見つけ、それに打ち込めるこども

3. 「在園児への子育て支援」

【ねらい】 「子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。」

*子どもの発達を理解し、子育てを楽しめるような情報の提供、交流の場となるようにする。

*園児と一緒に保育園で過ごすことを通して、保育園を身近に感じてもらう。

- ・保育参加、または参観を行い、子どもの姿を見てもうとともに、終了後面談を行い感想を聞きながら、連携を深めていく
- ・お誕生会には参加のご案内をして、子どもの様子を見てもらい、園と一緒にしてお祝いをする。
- ・保健だより、絵本だよりを配布して、子育てに活かしてもらう。

令和7年度ブライト保育園調布仙川事業報告書

I、保育所の所在地 東京都調布市仙川町 3-17-6

定員：70名

保育時間 7時～20時 (延長保育時間 18時～20時)

(1) 園児数・職員配置

(令和7年3月31日現在)

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)	合計
定員	5	10	10	15	15	15	70
在籍数	6	10	12	11	15	11	65

- ・園長1名 ・主任保育士1名 ・保育士11名 ・看護師1名 ・非常勤保育士8名
- ・栄養士3名 ・
- ・嘱託医2名 (内科1名、歯科1名)

(2) 職員会議の開催状況

- ・定例職員会議 (毎月) ・乳児会議、幼児会議 (毎月)
- ・給食会議 (毎月) ・行事担当者会議 (随時)

(3) 研修について

- ・主任保育士研修会 (調布市開催)
- ・栄養士研修会 (調布市開催)
- ・看護師研修会 (調布市開催)
- ・済聖会アカデミー
- ・園内研修 第1回「保育の質を高める研修会」
第2回「社会人基礎力」
第3回「子どもの人権って？」
第4回「絵本について」
第5回「安全対策の見直し」
第6回「遊びについて」
第7回「コミュニケーション力を身につけよう」
第8回「保育の環境設定について」
- ・園内保健指導・研修 第1回「SIDSについて」
第2回「エピペンの使用方法」
第3回「心肺蘇生・窒息時の対応」
第4回「痙攣時の対応」
第5回「外傷時の対応」
第6回「嘔吐時の対応」

(4) 小学校、行政機関との連絡協調

- ・交通安全指導
- ・保幼小連絡会
- ・小学校訪問見学（緑ヶ丘小学校）
- ・保育所児童保育要録の送付（令和7年3月2日発送）

II、保育の実施状況

【法人理念】

かかわるすべての人の「ハッピー」を追求する

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」（独り立ちし、社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダの三位一体「興育」～興味・体験・感動・気付き

【保育目標】

・「つよく ゆたかに キラキラと」

生きていく上で大切な事を園児自ら身に付ける事を支援していく

- ・自分のことは自分でしようとする子ども
- ・自分で感じ行動できる子ども
- ・意欲的で創造性豊かな子ども

【保育のかかわりかた】

- ① 子どもの思いを受け止める
- ② 子どもが自分で経験することを大切にする
- ③ 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
- ④ 子どもが自分で気づくような言葉かけをする

III、今年度の重点取り組みテーマ

〈年間テーマ〉

- ・保育内容の充実、質の向上
- ・保護者支援
- ・地域子育て支援

〈取り組み〉

- ・子どもの育ちに沿った保育計画の立案
- ・遊び込める人的。物的環境の設定
- ・積極的に保育を発信し、家庭との連携を図る
- ・地域の子育て支援拠点として機能し、役割を果たす

(1) 保育内容

- ・子ども一人一人の気持ちを受け止め子ども主体の保育を掲げ、否定語、禁止語、命令語を使わない保育を心がけ、丁寧な保育を実践していった
- ・日々の子どもの様子を写真や文字、言葉で発信したり、保護者の言葉に耳を傾けたりしながら保護者の保育への理解を深めていった
- ・毎月、園だより、ほげんだより、給食だよりを配布し、園生活や今の子どもの姿を保護者に

伝え、育ちを共有した

- ・園内保育の充実に加え、園外散歩の機会を多く設け、特に幼児クラスは戸外で思い切り体を動かす経験を多く持ってきた。また、異年齢で過ごす時間を設け、個人から集団遊びへと遊びが広がる中で、次第に社会性が育まれる経験を重ねていった。
自分より年上の友だちに憧れの気持ちをもったり、年上の児は自分がしてもらったように小さい子の面倒をみたりして子ども達の中に育ちあいが見られた
- ・自然に親しむという点で、園庭で虫探しをしたり、散歩に出かけた際、落ち葉拾い、木の実に興味を示したりする子どもがクラス全体に広がり、自然事象への関心が深まった

外部講師による指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	水曜日（年間 24 回）
英会話教室	火曜日（年間 30 回）
リトミック教室	火曜日（年間 22 回）

(2) 実施した主な行事

※別添「年間行事計画表」参照

IV 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・安心、安全な給食の提供を基本とし、アレルギー児の除去食・代替食にも対応し安全に配慮した提供を行った
- ・行事食の提供（誕生会：12回/年、季節の行事食：7回/年）
- ・行事や提供の際、旬の野菜を紹介し、子ども達が実際に調理前の野菜を見たり触ったりして食材に親しんだ。また、野菜の栽培、収穫を体験し食への興味を広げた。
- ・栄養士による「三色食品群」の話
- ・正しい食具の使い方、食事マナーを繰り返し伝えた
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の規則正しい生活のリズム作りを行った
- ・様々な食材に興味を持てるような活動の導入した
- ・「食べることは楽しい、おいしい」を当たり前と感じられるような環境づくり、関わり
- ・保育園や家庭にて、食材、メニュー、味など食事に関わる会話を通して、食べることの楽しさを感じると共に、自分の体を大切にす気持ちをも育む関わり、配慮を行った

V 健康管理の実施状況

(1) 児童

- ① 小児科 0歳児は毎月、0歳児～5歳児は年2回園嘱託医による健康診断の実施
- ② 歯科 5月 園嘱託医による歯科健診を実施

(2) 職員

- ① 定期健康診断 年1回、健康診断を実施（全職員）
- ② 細菌検査 ① 毎月、専門業者による「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を実施 ② 10月～3月 給食室、乳児担当の保育士「ノロウイルス検査」

VI 非常災害危険防止の実施状況

- ・不審者侵入（防犯）訓練…調布警察署警察官が来園
実際に刃物を持った不審者が侵入した設定で通報、避難の実施
- ・就学前の年長児に対する防犯教室（調布警察署）の実施
- ・洪水・通報訓練の実施

・毎月の避難消火訓練の実施

令和7年度ブライト保育園調布仙川年間行事

月	行事	保護者参加行事
4月	・23日(火) 誕生会	・1日(月) 入園式・懇談会(0歳児) ・20日(土) 保護者懇談会
5月	・15日(水) 内科健診(夢・虹) ・21日(火) 歯科健診 ・22日(水) 遠足(華) ・23日(木) 遠足(宙) ・24日(金) 遠足(星) ・27日(月) 歯磨き指導(星・宙・華) ・30日(木) 誕生会	
6月	・13日(木) 不審者侵入訓練 ・19日(水) 水開き ・19日(水) 内科健診(夢・月) ・27日(木) 誕生会	
7月	・5日(水) 七夕会 ・17日(水) 内科健診(夢・星) ・25日(木) 誕生会	・26日(金) 夏祭り
8月	・7日(水) 内科健診(夢) ・29日(木) 誕生会	
9月	・18日(水) 内科健診(夢・宙・華) ・26日(木) 誕生会	・2日(月) 引き取り訓練
10月	・12日(土) 運動会 ・24日(金) 誕生会 ・31日(木) ハロウィン	・参観週間 (星・宙)
11月	・7日(木) 遠足(月) ・8日(金) 遠足(星) ・28日(木) 誕生会	・参観週間 (虹・月・華)
12月	・12日(木) 誕生会 ・24日(火) クリスマス会 ・25日(月) 誕生日メニュー	・14日(土) 個人面談(華)
1月	・10日(金) お正月会 ・26日(金) 誕生日メニュー ・31日(金) 節分会	
2月	・27日(木) 誕生会	・7日(金) 懇談会(夢) ・14日(金) 懇談会(虹) ・15日(土) 生活発表会(星・宙・華) ・19日(水) 懇談会(星) ・20日(木) 懇談会(宙) ・21日(金) 懇談会(月)
3月	・7日(金) お別れ遠足(華) ・13日(木) 誕生会 ・18日(火) お別れ会	・22日(土) 卒園式

◆ 毎月の行事

- ・ 発育測定
- ・ 避難消火訓練
- ・ 子育て支援

令和6年度ブライト保育園福岡高宮事業報告書

I、保育所の運営

定員：60名

(1) 園児数・職員配置（令和7年3月31日現在）

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
在籍数	8	10	12	14	15	18	77

- ・園長1名 ・保育士9名 ・パート保育士2名 ・栄養士2名
- ・パート栄養士1名 ・体操教室講師（外部）1名 ・英語教室講師（外部）1名
- ・嘱託医2名（内科1名、歯科1名）

計17名(令和7年3月31日現在)

(2) 職員会議の開催状況

- ・定例職員会議（毎月） ・運営会議（随時） ・リーダー会議（毎月）
- ・給食会議（毎月） ・行事担当者会議（随時）

(3) 研修について

- ・南区グループ研修他、各種団体の開催する研修に参加
- ・キャリアアップ研修の参加
- ・園内研修 第1回「子どもの人権について考える～よりよい保育のために～」
第2回「緊急事態発生時の対応について」
第3回「気になる子どもの対応」
第4回「特別支援保育について」
第5回「子どものメディア環境を考える」
第10回「就学についての取り組みを考える」
第11回「主体的な保育とは」
第12回「自己評価チェック～1年の振り返り～」

(4) 小学校、行政機関との連絡協調

- ・保幼小連絡会
- ・保育所児童保育要録の送付（令和7年2月20日発送）

II、保育の実施状況

【法人理念】

かかわるすべての人の「ハッピー」を追求する

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」(独り立ちし、社会の中で生きていく力)の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダの三位一体「興育」～興味・体験・感動・気付き～

【保育目標】

・「つよく ゆたかに キラキラと」

生きていく上で大切な事を園児自ら身に付ける事を支援していく

- ・自分のことは自分でしようとする子ども
- ・自分で感じ行動できる子ども
- ・意欲的で創造性豊かな子ども

(5) 福岡高宮の目標

子どもも親も保育者も皆が幸せになる保育園

(6) 福岡高宮の目指す子ども像

- ・心も体も元気な子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども
- ・感性豊かな子ども
- ・思いやりのある子ども

(5) 今年度の園目標・運営目標

(1) 運営目標

保育の質の向上を図る

(2) 園目標

- ・人的、物的環境の充実
- ・日常生活に根付いた行事の開催
- ・保育の「見える化」、保護者との共有と連携
- ・地域との交流を深める

(1) 保育時間 7時～20時 (延長保育時間 18時～20時)

(2) 保育内容

- ・子ども主体の保育を掲げ、否定語、禁止語、命令語を使わない保育を心がけ、丁寧な保育を実践していった
- ・保育参観・参加を実施。希望日を募り一保育士として保育に加わり子どもの普段の様子を見たり、参加してもらったりして保護者の保育への理解を深め、成長を共有していった
- ・園だより、ほけんだより、給食だよりの配布、クラスだより(ドキュメンテーション)の掲示をすることで園生活や今の子どもの姿を保護者に伝え、育ちを共有した。また、ドキュメンテーションの貼り出しを全クラス分同じ箇所にするすることで、園全体でどのような取り組みや保育をしているのかを知ってもらう機会を設けた
- ・異年齢時との交流の機会を多く設けながら、子どもたちの社会性が育まれていくように保育を実践していった。年上の子に憧れを持ったり、年下の子に優しく関わろうとしたりする姿が増え、積極的な関わりが見られるようになってきている。また、芋掘り体験を通して、近

隣の特別支援学校の生徒との交流を深めた

- ・園庭花壇で植物や野菜を育てながら実際に土の感触や植物が育つ様子を観察することを楽しんでいった。また、園庭や園外散歩で虫探しをしたり、雨の日の園外散歩を経験したりしながら、自然事象への関心を深めていった
- ・メダカ・金魚の飼育を通して身近な生き物に触れ、興味や関心を育みながら、命について知る機会を設けた

外部講師による指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	水曜日（年間 24 回）
英会話教室	火曜日（年間 30 回）

(3) 実施した主な行事

※別添「年間行事計画表」参照

III 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・安心、安全な給食の提供を基本とし、アレルギー児の代替食にも対応し安全に配慮した提供を行った
- ・行事食の提供（誕生会：12回/年、季節の行事食：6回/年）
- ・行事の際、旬の野菜を紹介し、子ども達が実際に調理前の野菜を見たり触ったりして食材に親しんだ。また、野菜の栽培、収穫を体験し、食への興味を広げた。また、旬の食材の説明をわかりやすく掲示し、親子でも話題にできるようにしていった
- ・「お弁当の日」を設け、普段とは違う食事の時間を楽しみながら、お手拭きの使い方や弁当の際のマナーなどを知っていった
- ・栄養士による「三つの栄養素」のお話
- ・正しい食具の使い方、食事マナーを繰り返し伝えた
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の規則正しい生活のリズム作り
- ・様々な食材に興味を持てるような活動の導入
- ・「食べることは楽しい、おいしい」を当たり前と感じられるような環境づくり、関わり
- ・保育園や家庭にて、食材、メニュー、味など食事に関わる会話を通して、食べることの楽しさを感じると共に、自分の体を大切にす気持ち育む関わり、配慮を行った

IV 健康管理の実施状況

(1) 児童

- ① 小児科 年2回（7月・10月）園嘱託医による健康診断の実施
- ② 歯科 6月
園嘱託医による歯科検診を実施
- ③ 尿検査 9月（対象：4歳児・5歳児）

(2) 職員

- ① 定期健康診断 年1回、健康診断を実施（全職員）

- ② 細菌検査 毎月、専門業者による「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を実施

V 非常災害危険防止の実施状況

- ・不審者侵入（防犯）訓練…南警察署警察官が来園。

実際に刃物を持った不審者が侵入した設定で通報、避難の実施

- ・就学前の年長児に対する防犯教室（南警察署）の実施
- ・洪水・高潮訓練、通報訓練の実施
- ・毎月の避難消火訓練の実施

令和6年度ブライト保育園福岡高宮年間行事

月	行事	保護者参加行事
4月	・11日(木) 交通安全教室 (3・4・5歳児)	
5月	・2日(木) 子どもの日の集い ・24日(金) 遠足(4・5歳児)	
6月	・12日(水) 歯科検診	・23日(土) クラス懇談会(0～5歳児)
7月	・1日(月) 水遊び、プール活動開始 ・3日(水) 内科健診 ・5日(金) セタ会	
8月	・30日(金) 水遊び終了	・3日(土) 夏のお楽しみ会(2部制)
9月	・10日(火) 尿検査(4・5歳児)	
10月	・23日(水) 内科健診	・11日(金) 引き渡し訓練 ・12日(土) 親子運動会
11月		
12月	・25日(水) クリスマス会	・14日(土) 生活発表会(2～5歳児)
1月	・6日(月) 新年の集い	・10日(金) きらきらの会
2月	・3日(月) 節分会 ・7日(金) 防犯訓練(5歳児) 不審者侵入訓練(全職員・全園児) ・21日(金) オーガマン手洗い指導	・15日(土) クラス懇談会(0～5歳児)
3月	・3日(金) ひなまつり ・7日(金) お別れ遠足(3・4・5歳児) ・21日(金) お別れ会	・15日(土) 卒園式

- ◆ 毎月の行事
 - ・誕生会メニューの日
 - ・お誕生日祝い(各クラス)
 - ・発育測定
 - ・避難消火訓練
 - ・子育て支援
 - ・保育参観(保育参加)
- ◆ 課内・課外教室
 - ・英会話教室
 - ・体操教室

2024年度 ブライト保育園福岡東比恵事業報告書

1 保育園の概要

(1) 所在地 福岡県福岡市博多区東比恵2丁目12番39号

(2) 定員 60名

(3) 年齢別入所児童数（令和7年3月31日園児数）

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)
定員	6	8	10	12	12	12
在籍数	8	9	12	15	15	15

(4) 職員数

- ・園長 1名 ・主任 1名 保育士 15名 ・管理栄養士 1名
- ・調理員 1名 ・保育補助 1名
- ・嘱託医 2名（内科 1名・歯科 1名） 計22名（令和7年3月31日現在）

(5) 事業年度 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(6) 開園時間 午前7時～午後8時
(延長保育時間 午後6時～午後8時)

(7) 職員会議・その他会議について

(円滑に運営を行うにあたり会議を開催し、計画を持って行事等進める)

- ・定例職員会議（毎月） ・クラス会議（毎月1回） ・乳児・幼児会議（月1回）
- ・リーダー会議（需要に合わせて） ・給食会議（毎月）

(8) 研修会について（保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す）

- ・各種団体の開催する研修会・研究会に参加
- ・救命救急、AED講習受講、感染症予防講習会

(9) 小学校・行政機関との連絡協調

就学児童受け入れ校との連携を図るため近隣施設との交流強化の要望
幼保小連絡懇談会の実施

2 保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基盤づくりを支援する

【基本方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育（興味・体験・感動・気づき）

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています。

「つよく」＊我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ（健全なる競争心）

＊健康増進、健康な体づくり

＊自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」＊心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」＊ココロの輝き

＊何か一つでも好きで夢中になれるものを見だし、探究心・持続力・集中力を養い、自分に対して自信を持って輝いている

3 今年度の運営目標、園目標

6年度目標：無くてはならない“オンリーワン計画1年目”

- 保育者（保育士だけでなく全員対象）の資質向上UP
- 保護者支援の強化
- 地域、子育て支援の充実化

4 運営方針

1. 保育者（保育士だけでなく全員対象）の資質向上UP
 - 前半：子どもの心を大切にする言葉かけ
後半：園内でお互いの保育を見直す公開保育の実施
 - 性の多様性についての共通理解
 - ★午睡に対する考え方、起きた子の対応
2. 保護者支援の強化（見える化・見せる化）
 - クラスドキュメンテーションの発信
 - クラスだよりの内容精選
 - 連絡帳の見直し
 - 保護者対応に対する各個人の考え方のすり合わせ（例：保護者が休みの日、育休取得中の預かり、土曜保育など）

- 地域、子育て支援の充実化を図る＊子育て支援年間計画別紙参照
- 毎月行っている活動の検討、見直し
- 東光校区なかよしクラブとの交流

< 園目標実現のために取り組んだこと、意識したこと >

- ・福岡市保育現場の魅力向上支援事業研修に参加し、「ノンコンタクトタイム」や「休憩時間」について、園全体で導入、取り組みを行うことができた。その結果、人員配置の調整の見直しや ICT 化が進み、業務の効率化を図ることができたことは非常に良かった。一方そこに比重がかかってしまい、会議や話し合いの時間がもてずに、連絡不足や会議内容の伝達ミスなどがあったので7年度の課題とする。
- ・登降園管理はもとより、保護者との連絡、帳票書類の管理、請求管理などの保育や業務のほとんどを ICT 化したことで、職員の業務量が圧倒的に減ったことで、ゆとりがもてた。さらなる機能の充実化を図り、保護者へのメリットを追求していきたい。
- ・高齢者との交流を通して、高齢者と子どもたちは普段接する機会が少ないため、互いの存在を理解することが難しいこともあったが、今年度の交流を通じて子どもたちの元気な姿を見てもらうことで、高齢者の方から笑顔や感謝の言葉をもらうことができた。また、子どもたちは高齢者と一緒に過ごすことで、受け止められる心地よさを味わったり、安心できる存在だと気づけたたりするようであった。世代間の理解を深めるためにも、ぜひ交流の機会を増やしていきたい。

5 その他の取り組み（行事計画）

(1) 保育関係

- ・園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りの保護者へルクミーアプリを使用してネット配信し、行事内容を詳細に知らせる
 - ・保育参観・クラス懇談会・個人懇談を実施し、保護者との連携を図る
 - ・インターネット・ホームページ・ドキュメンテーションによる活動及び行事のお知らせ等
 - ・児童の健康管理とし、年2回内科検診・年1回歯科検診、毎月身体測定の実施
- ＊2024年度年間行事予定は別紙参照

(2) 給食・食育

- ・安心・安全な食の提供の強化（誤飲・誤食を完全に防ぐ）
- ・食育として園全体でお箸の正しい使い方・食事マナーの導入
- ・食に関するPOP掲示を行い食への関心を広げる

(3) 職員体制、職員育成

- ・目標達成シート作成(自己の目標を達成するためにPDCAサイクルの習慣化を身につけさらに高いレベルのPDCAを回す(スパイラルアップ)を目指し、自己成長へと繋げる。
 - ・園内情報、コミュニケーションの活性化
- ＊一部の事項を除き、全員が同じ情報(量)を持つ、共有する

(4) 安心・安全対策・防災関係

- ・安心安全保育を目指すうえで危険回避力スキルを上げるために危険予知力をつける。
- ・ヒヤリハットの活用により安全文化・安全教育の安心を目指した保育の実現。保育士全員の意識の向上強化。また、お散歩時の園外保育チェックリストの活用により安全に努める
- ・具体的な避難訓練の実施（子ども自身が身を守る訓練導入）
- ・不審者訓練実践実施（いろいろな場面を想定しながらおこなう）
- ・災害時、避難所への避難の仕方、避難食の確保、避難食提供リストマニュアルを全職員把握
- ・園独自の AED 講習会・エピペン講習会・S I D S 研修を開催し、全職員が対応できることを目指す

(5) ・地域交流

- ・地域小学校への訪問希望の申し入れ（小学校の見学等）
- ・短大および4年生大学保育および調理実習生、高校生との触れ合い等積極的な受け入れ
- ・町内会活動への積極的参加と地域貢献

●年間スケジュール
(4月～9月)

月	行 事	保護者参加行事
4 月	<ul style="list-style-type: none">● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導（3・4・5 歳児）● 誕生会【4 月生まれ】● 体操教室・英語教室（3・4・5 歳児）● 遠足ごっこ（3・4・5 歳児）☆ 子育て支援<毎月第2 金曜日>	
5 月	<ul style="list-style-type: none">● こどもの日の会● 尿検査（4・5 歳児）● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導（3・4・5 歳児）● 誕生会【5 月生まれ】● 体操教室・英語教室（3・4・5 歳児）☆ 子育て支援<毎月第2 金曜日>	○ 保育参加・給食試食会
6 月	<ul style="list-style-type: none">● 歯科健康診査● 発育測定● 避難訓練● 交通安全指導（3・4・5 歳児）● 誕生会【6 月生まれ】● 体操教室・英語教室（3・4・5 歳児）☆ 子育て支援<毎月第2 金曜日>	○ 年齢別個人面談

7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 七夕祭り (7日) ● 水遊び開始 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 (3・4・5歳児) ● 体操教室・英語教室 (3・4・5歳児) ● 誕生会【7月生まれ】 <p>☆ 子育て支援<毎月第2金曜日></p>	○ 夏祭り&作品展
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● プール遊び ● 発育測定 (頭囲・胸囲) ● 避難訓練 ● 交通安全指導 (3・4・5歳児) ● 体操教室・英語教室 (3・4・5歳児) ● 誕生会【8月生まれ】 <p>☆ 子育て支援<毎月第2金曜日></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年長デイキャンプ (5歳児のみ) ○ 1日保育士先生体験 (5歳児保護者)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 園医による定期健康診断 ● 東光なかよしクラブ交流会 (5歳児) ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 (3・4・5歳児) ● 体操教室・英語教室 (3・4・5歳児) ● 誕生会【9月生まれ】 <p>☆ 子育て支援<毎月第2金曜日></p>	

(10月～3月)

月	行事	保護者参加行事
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 衣替え ● 発育測定 ● 交通安全指導 (3・4・5歳児) ● 体操教室・英語教室 (3・4・5歳児) ● 誕生会【10月生まれ】 <p>☆ 子育て支援<毎月第2金曜日></p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引き渡し訓練 ◎ 運動会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋の園外遠足【3・4・5歳児】 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導 (3・4・5歳児) ● 体操教室・英語教室 (3・4・5歳児) ● 誕生会【11月生まれ】 <p>☆ 子育て支援<毎月第2金曜日></p>	

12月	<ul style="list-style-type: none"> ● クリスマス会 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導（3・4・5歳児） ● 体操教室・英語教室（3・4・5歳児） ● 誕生会【12月生まれ】 <p>☆ 子育て支援＜毎月第2金曜日＞</p>	◎ 生活発表会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ● おめでとう会・もちつき ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導（3・4・5歳児） ● 体操教室・英語教室（3・4・5歳児） ● 誕生会【1月生まれ】 <p>☆ 子育て支援＜毎月2金曜日＞</p>	◎ 保育参観・クラス懇談会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ● 節分（豆まき会） ● お別れ遠足【3・4・5歳児】 ● 園医による定期健康診断 ● 発育測定（頭囲・胸囲） ● 避難訓練 ● 交通安全指導（3・4・5歳児） ● 体操教室・英語教室（3・4・5歳児） ● 誕生会【2月生まれ】 <p>☆ 子育て支援＜毎月第2金曜日＞</p>	◎ 年齢別個人面談
3月	<ul style="list-style-type: none"> ● ひなまつり会 ● お別れ会 ● 発育測定 ● 避難訓練 ● 交通安全指導（3・4・5歳児） ● 体操教室・英語教室（3・4・5歳児） ● 誕生会【3月生まれ】 ● 進級式 <p>☆ 子育て支援＜毎月第2金曜日＞</p>	◎ 卒園式

2024年度 子育てコアラ

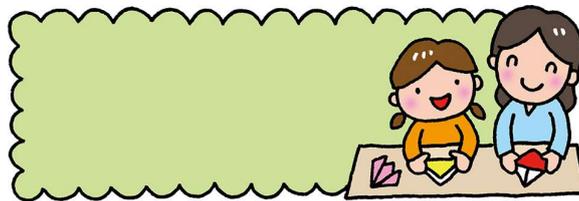
地域・子育て支援年間計画

【ねらい】子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。

◎子どもを理解し、子育てを楽しめるような情報の提供、交流の場となるようにする。

◎保育の体験や園児と一緒に過ごすことを通して、保育園を身近に感じてもらう。

開催日	内容	タイトル
4月18日(木)	園庭あそび 子育て相談	保育園ってどんなところ？園庭であそぼう
5月18日(土)※	給食試食会(10:40~11:30を予定しています)	保育園の給食を食べてみませんか？
6月13日(木)	シャボン玉あそび 子育て相談	園庭でシャボン玉遊びをしよう
7月6日(土)※	夏祭り 子育て相談	いろいろなお店やゲームコーナーであそぼう
8月1日(木)	どろんこ・水あそび 子育て相談	どろんこペタペタ・お水ジャブジャブ楽しいな
9月13日(金)	園内探検、室内遊び 子育て相談	保育園の中を探検してみよう
11月11日(金)※	お散歩(5歳児と) 子育て相談	5歳児と一緒に園の近くを散歩しよう
11月14日(木)	親子ふれあいあそび・入園相談 子育て相談	親子でふれあい遊びをしよう
12月6日(金)	クリスマス製作 子育て相談	ツリーの帽子を作ろう
12月25日(火)※	クリスマス会 子育て相談	クリスマス会
1月18日(土)	お正月あそび(こま、かるた、福笑い) 子育て相談	お正月の遊びをやってみよう
2月14日(金)	人形劇観劇会 子育て相談	みんなで“からこま座”の人形劇を見よう
3月27日(木)	園庭あそび 子育て相談	園庭に出て4歳児と一緒に遊ぼう



2024年度ブライトこども園安城桜町事業報告書

保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育(興味・体験・感動・気づき)

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】

「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています

「つよく」*我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ(健全なる競争心)

*健康増進、健康な体づくり

*自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」*心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」*ココロの輝き

*何か一つでも好きで夢中になれるものを見いだし、探究心・持続力・集中力を養い、
自分に対して自信を持って輝いている

1・保育園の運営

定員 140名

(1) 園児数

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	ひかり (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)
定員	15	20	20	12	12	10	10
在籍数	12	17	22	13	13	27	24

(2) 職員数

- ・園長 1名
- ・主任 2名
- ・保育教諭 15名
- ・栄養士 1名
- ・管理栄養士 1名
- ・調理師士 1名
- ・非常勤フリー保育教諭 3名
- ・保育補助 5名
- ・看護師 1名
- ・委託医3名(内科 1名・歯科 1名・薬剤師 1名) 計34名(2025年3月現在)

(3) 職員会議・委員会活動等開催状況、

- ・定例職員会議(毎月月末1回)実施クラス状況の報告にてクラス運営の進み具合等を事前に議事録提出し、情報共有することで、改善点など日々の保育に反映した
- ・発達や援助、不適切保育についての園内研修にて、共に学ぶ場ができた
- ・クラス会議・給食会議(毎月1回)実施。議事録にて複数担任クラスは同じ方向性で保育を進めるよう共有した

- ・行事・委員会活動実施にて各担当活動の報告にて全職員が把握することができた
- ・乳幼児リーダー会議にて、縦の繋がりや他クラスの悩み・保育の進め方について意見交換し、よりよく保育を進める為に話し合う時間を設けることができた
- ・職員会議簿報告シート改善をおこなった（幼児：子ども月案会議報告・乳児：今月の主体的保育の報告・給食：今月の自園調理中のヒヤリハット・安全意識強化報告にて振り返り各自問題点に着目して会議を進めた

(4) 研修会の取り組み実施

(保育の質の向上、保育士としてのスキルアップ向上を目指す)

- ・各種団体の開催する研修会に意欲的な参加が見られ、ほとんどの職員がキャリアアップ研修へ参加し、保育士個々のスキルアップに繋げることができ、資格取得へと繋がった
園内職員間研修
- ・気づきのメモによる気づきの重要性（ヒヤリハット）の強化に努め、乳幼児リーダーを主体として話し合いを進め自園に潜む見落としがちな危険について話し合い、危険察知能力と危険回避力を強化することができた
- ・AED/心肺蘇生法実施研修（毎月）研修を導入し、テーマを決め実践内容・事例はグループごとで決めよりリアルな研修にて実践へと繋げた

2. 重点的な取り組み実施

※自園の「目指すべき姿」

『乳幼児期という大切な時期に「あそび」の中で様々な体験・経験を通して、生きる力の基盤づくりを目指す。安心・安全な保育を進める中で関わるすべての人の「ハッピー」を追求し、子ども一人ひとりの思いを受け止め、自己肯定感を高め育みながら、誰からも愛される保育園』を目指す

※園目標：・「あそび」の中で体験や経験を通して生きる力の基盤づくりを目指す

- ・自己肯定感を高め育む保育
- ・安心安全な保育

※運営方針：「子ども中心保育」

「子ども中心」であることを保育の原則として捉え、子ども一人ひとりについて、人格を尊重し、生活や遊びを通して生きる力を育み、子どもの主体的な活動ができるよう環境を整え援助しながら保育者も環境の一部となり関わりを大切にする

2024年テーマ（園目標を達成する為に）

1・『子ども活動（月案）会議』導入（幼児クラス）

- ・子どもが「自分で考え」「遊びを選び」「空間づくり」ができる主体的な活動をおこない、主体的に物事に関わり、やりたいことを形付けて自己実現力を育むことができた
- ・子どもの発達を理解しながら主体性を活かし、分散しながら遊べる環境作りと多様な活動ができる環境設定できた

2・人的・物的ミス ZERO による安全保育

- ・慣れによって見逃されてしまう人的・物的（環境）ミスをなくし、より安全安心保育の提供と給食室内の安全意識強化をおこない、すべてにおいて「安心安全保育」安全保障を目指すことができた

3『互いに心がける！傾聴・受容・共感』

- ・職員にとって居心地の良い環境と良好な人間関係の構築を目指すなかでコミュニケーションが活発になり笑顔の多い職場作りができた

※その他の取組み

- ・外部向けの子育て支援・地域支援強化にて様々な取り組みができた。
※10月保育体験ごっこ ※5月・11月ゴミ ZERO 運動（地域活動） ※移動水族館訪問
- ・主任人材育成にて主任複数性にて主任としての責任感と実務を学び組織の運営を支えよりよく園が回るよう知識と経験を身につけるよう指導をおこなった
- ・保育計画のすり合わせにより発達を学び合い、理解を深め年齢に応じた適正で安全な質の高い保育の提供を目指すことができた

3. 保育園運営

- ・認定こども園化により教育及び保育内容に関する全体的な計画の作成・年間保育計画・週間指導計画案作成をおこなった
- ・年案・週案・個別・要録記録の I T C アプリるくみーにての書類管理・作成を徹底した
- ・保健計画・食育計画・学校安全計画・危険等発生時対処要領作成
- ・自園保育計画の見直しを強化し、成長発達に沿った保育の実施と年齢発達の縦の繋がりを意識し計画を進めることができた

4・保育実施状況

(1) 保育時間

午前7時15分～午後8時

(2) 保育内容

- ・登降園アプリるくみーにて園便り・保健便り・給食便り・行事・クラス便りを配信へと切り替えた
- ・インターネット・ホームページによる行事のお知らせの強化をした
- ・インスタグラムを導入し保育の見える化をおこなった
- ・登降園管理アプリるくみーにて全クラス保育活動を毎日配信や連絡帳をアプリへと切り替え、保護者へ配信にて日々の保育の見える化を行った
- ・児童健康管理とし、年2回内科検診・年1回歯科検診、毎月身体測定・乳児クラス月2回定年齢乳児検診の実施をした
- ・引き続き幼児クラスにて体操教室・リトミックの実施を行い、子ども達に体を動かす楽しさや英語教育に興味関心を広げることができた
- ・幼児クラス向けの体操教室・英会話教室NOVAの課外レッスンにてレッスン時の環境を見直し、安全にレッスンが進められるよう各教室講師と安全対策強化をおこなった
- ・年長児対象の平仮名教室「もじ・すうじラボ」年間60回導入をおこなった
- ・新たに年中児対象の平仮名教室「もじラボ」年間40回導入をおこなった
- ・昨年同様、信頼され開かれた園づくりを実現するために年間1回園評価に関する保護者アンケート実施にて保育の質の向上に努めた

- ・保育教諭の自己評価導入にて日々の保育の振り返りを行い、集計結果をホームページにて掲載し、自己の振り返りを行う時間を設けた

* 2024年度年間行事予定は別紙参照

※外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	火曜日 年間 20 日
リトミック	水曜日 年間 18 回
英語教室	木曜日 年間 30 回
もじ・すうじラボ	月曜日・水曜日 年間半期 60 回（年長児）
もじラボ	月曜日・水曜日 年間半期 40 回（年中児）

(3) ・給食・食育実施状況

- ・一年間で様々な体験や経験ができるよう野菜栽培活動を計画していたが、食すことへの安全提供が確保できない為、花の栽培へと切り替えた
- ・お箸の使い方・マナー・クッキング体験など食育の強化を図り、各年齢にあった食育の提供をおこなった
- ・給食提供時の不適切について研修を受け、各クラス話し合い、不適切な提供を行わないよう確認をおこなった
- ・食育指針を見直し、年齢にあった給食時の提供と配慮のすり合わせをおこなった
- ・硝子張り調理室前を利用した調理実演を実際に子ども達に見せながらのワンプレートアートの食育イベントを導入にし、視覚で食べる意欲へと繋げた
- ・卒園児向けのスペシャルメニュー提供で UberEATS 配達にてイベントを提供し子ども達にとってこども園での忘れられない思い出作りなど工夫を行った
- ・食物アレルギー児への対応の強化を図り、保護者・保育教諭・栄養士の3者で連携を徹底した。毎月献立とアレルギー確認書を用いて保護者面談を行い、誤食ゼロで1年間終えることができた

(4) 職員体制、職員育成

- ・運営方針「子ども中心保育」であることを保育の原則として捉え、子ども一人ひとりの人格を尊重し、生活や遊びを通して生きる力を育み、子どもの主体的な活動ができるよう環境を整え援助しながら保育教諭も環境の一部となり関わるよう心掛けた
- ・保育補助雇上げにて保育士の仕事量の削減へと繋げ円滑に園が回るようになった

・健康管理の実施状況

1：児童

- ・年2回内科検診の実施（5月、10月）
- ・6月歯科検診の実施
- ・6月幼児クラス対象検尿
- ・毎月身体測定の実施を行い保護者へ報告
- ・乳児クラスは月2回低月齢児検診の実施

2：職員

- ・定期健康診断（年1回全職員対象に実施）
- ・検便（月1回赤痢・サルモネラ菌・病原性大腸菌検査の実施）

・インフルエンザ予防接種の実施

(5)・避難訓練・不審者訓練・安心・安全対策・防災関係実施状況

- ・年間幼児クラスは安全指導教材を保育の中で導入し、避難訓練や実際に災害が起きた時に備えて知識を学び命の守り方を知ることができた
- ・職員に事故訓練を導入し、不適切保育・不適切給食・SDIS 突然死・虐待・ジェンダー・誤嚥窒息のテーマに2か月ごと研修を行い知識を深めた
- ・環境問題に着目し子ども達とできるSDGsを伝えるとともにゴミについて学び合いごみゼロ運動を行い地域の清掃活動をおこなった
- ・様々な災害時を想定し、避難場所への避難の仕方をリアルに体験できるよう訓練の見直し強化徹底した
- ・防災倉庫内管理を計画書にて毎月行うことで非常食期限切れを未然に防ぐことへと繋げた

(6)・地域交流

- ・敬老会にて地域の老人ホームにて交流実施をおこなうことができた
- ・地域小学校との交流実施。小学校内見学や授業の様子、児童との交流を図り、就学への期待感を高め、小学校との連携プログラム「架け橋プログラム」の作成を行うことができた
- ・保育士の保育園実習の受け入れを年2回実施し、学生との交流の機会となった
- ・外部向けの子育て支援・地域支援強化を行い、子育て支援計画にて毎月地域の子ども達との交流を図り、また、子育ての相談の場の提供をおこなった

2024●年間スケジュール

月	行事	保護者参加行事
4月	1日(月)～6日(土) 希望保育 2日(火)～5日(金)・慣らし保育 8日(月) 始業式 18日(木) 避難訓練 25日(木) 誕生会 4/1～4/7まで1号認定児長期休業	1日(月) 入園式
5月	7日(火) 避難訓練 15日(水) 不審者対策訓練 23日(木) 誕生会 10(水) 内科健診	17日(金) 親子遠足(3～5歳児) ※0～2歳は通常保育 個人懇談会 0歳 5/27(月) 28(火)
6月	1日(土) 衣替え 5日(水) 避難訓練 12(水) 歯科健診 26日(水) 誕生会	個人懇談会 1歳 5/29(水)～30(木) 2歳 6/3(月)～4(火) 15日(土) 保育参観(3～5歳児)
7月	1日(月) プール開き 4歳午睡開始 5日(金) 七夕会・誕生会 18日(木) 避難訓練 12日(金) 夏イベント保育(年長児) 7/22～8/31まで1号認定児長期休業	体操参観
8月	7/29日(月)～1日(木) 安城七夕作品展 1日(木) 避難訓練 10日(土)～17日(土) 希望保育 22日(木) 誕生会 30日(金) プール納め 4歳午睡終了	
9月	3日(火) 総合避難訓練 25日(水) 誕生会 27日(金) 内科健診	14日(土) 乳児運動会(保育参観) (0～2歳児) ※土曜保育はありません
10月	1日(火) 衣替え 9日(水) 避難訓練 11日(金) 地域敬老会 22日(火) 不審者対策訓練 24日(木) 誕生会	4日(金) 引き渡し訓練 5日(土) 幼児運動会(3～5歳児) (雨天予備日12日)
11月	5日(火) 避難訓練 21日(木) 誕生会 27(水) 年長児小学校見学	個人懇談会 3歳 5日(火)～8日(金) 個人懇談会 4歳 11日(月)～13日(水) 個人懇談会 5歳 18日(月)～20日(水)

月	行事	保護者参加行事
12月	2日(月)～5日(木) 正月飾り展(幼児) 7日(土) 避難訓練 18日(水) クリスマス会・誕生会 20日(金)～28日(土) 希望保育 30日(月)・31日(火) 年末休暇 12/28～12/31 まで1号認定児長期休業	楽器遊び会9日(月)～11日(水) (乳児発表会)
1月	1日(水)～3日(金) 年始休園 4日(土)～7日(火) 希望保育 9日(木) 誕生会 29日(水) 避難訓練 1/6～1/7 まで1号認定児長期休業	25日(土) 幼児生活発表会
2月	3日(月) 節分・誕生会 5日(水) 誕生会 20日(木) 不審者対策訓練 26日(水) 総合避難訓練	
3月	4日(火) 避難訓練 6日(木) お別れ会・誕生会 25日(火)～31日(月) 希望保育 3/25～3/31 まで1号認定児夏季休暇	21日(金) 卒園式

※日程変更・追加がある場合は園だよりにて知らせる

※太字記載行事は日程が決まり次第、園便りにて知らせる

令和6年度ブライト保育園名古屋一社事業報告書

1. 保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育(興味・体験・感動・気づき)

- (1) 子どもたちの興味を引き出す、より多くの機会を提供する
- (2) 子どもの思いを受け止める
- (3) 子どもが自分で経験することを大切にする
- (4) 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】

「つよく ゆたかに キラキラと」

自発的な活動を通してあきらめない気持ちや我慢強さ、しなやかで豊かな心を育て、子どもの「やりたい」という意欲を大事に存分に保障していく。

子どもたち一人ひとりの生活リズムを大切にそれぞれのリズムを大切に、それぞれの発達に合わせて援助し、自分に対して自信を持って輝いていけるよう良い姿をたくさん伸ばしていく

【園目標】

- ・自分で考え、工夫したり判断できる子ども
- ・五感を通して、ゆたかな感性と創造を培う子ども
- ・感性豊かで素直に感動できる子ども

【内容】

- ・子どもたちが自ら考え、友だちの意見も聴きながら、工夫して発表会などをつくりあげていった。主体性を大事に、職員は見守り、子どもたちの判断に任せて進めた。
また、砂遊びやどろんこあそび、お絵かき、積み木やブロック、粘土などの造形活動をする中で、五感を通して子どもたちの「やってみたい」を一緒に経験をしながら、アイデアやイメージのひらめきを大切にしていた。

2 園児数・保育士

(1)定数 60名

(2)年齢別入園児数(令和7年3月1日)

	ゆめ (0歳)	にじ (1歳)	つき (2歳)	ほし (3歳)	そら (4歳)	はな (5歳)
定数	6	12	12	10	10	10
在籍数	6	12	12	13	12	13

(3) 職員数

- ・園長1名 ・主任1名 ・保育士10名 ・パート保育士3 調理(栄養士)2名
- ・保育従事者1名 ・委託医2名(内科1名・歯科1名) 計18名(育休2名)

3 保育運営

- ・全体の計画、年間保育計画、月案、週案を合わせ、職員で理解を深めて保育につなげていった。
- ・各クラス保育室の環境設定を期ごとで話し合いながら、保育をつなげられるようにした。

4 研修会(職員の質の向上)・職員会

- ・研修テーマを個人で提起しそのテーマに基づいて全員で話し合い、日々の保育に活かしていくことができた。
- ・定例職員会議(毎月)定例会では、職員が1つずつ疑問や保育についての話を提起し、みんなで話し合い、考えることができた。
- ・クラス会議(毎月) ・給食会議(毎月)
- ・研修会・研究会に積極的に参加

5 行事計画

- ・園だより、保健だより、給食だより、クラスだより、行事だよりなど、行事内容を詳細に知らせた。
- ・保育参観、個人懇談を実施した
- ・体操教室 年24回 英語教室 年33回行った

6 給食・食育

- ・誕生会・季節メニューなどの行事食を取り入れることができた
- ・自分の食べられる量を自分で決め、伝えることができるようにした
- ・安心、安全な食の提供の強化(誤飲、誤食を防ぐ)
- ・食に関する提示を行い、食への関心を広げる

- ・子どもの食の様子などを把握するため、栄養士が給食時に各クラスに入り食事の知る
- ・人気メニューレシピの公開した
- ・子どもたちからどんなものを作ってみたいか聞き、実現した。
- ・ケーキコンテストを開催し、楽しんでクッキングに携わることができた。
- ・食育指針を作成し、各年齢にあった目標や介助ポイントを決めた。

7 健康管理

園児・・・小児科 年2回(10月・3月) 園委託医による健康診断
 歯科 年1回(6月) 園委託医による歯科検診
 ※ 毎月 身体測定を実施

職員・・・定期健康診断

検便(月1回) 赤痢菌・サルモネラ菌・O-157・ノロウイルス
 インフルエンザ予防接種(10月)

8 安心・安全対策・防災関係

- ・ヒヤリハットの活用により安全・安全教育の安心を目指した保育の実現
 ヒヤリハットの見直し、職員で共有し、今後の改善に活かすことができた
- ・散歩時のチェックリストの活用により安全に努める
 散歩マップの作成に取り掛かった。
- ・具体的な避難訓練の実施
 いつ、どんな場面においても、落ち着いて避難できるか、いろんな状況で実施した。
- ・地震が起きたときどうするか?の絵本を作成し普段から子ども自身が身を守る術を知る
- ・不審者訓練実践実施 いろいろな場面を想定しながら行った。
- ・災害時、避難所への避難の仕方、避難食提供リストマニュアルを全職員把握
 非常食の見直しをした。不足分は購入した
- ・園内でのAED講習会・エピペン講習を開催し、全職員が対応できることを目指す
 怪我や事故、色々な場面を想定し、看護師が中心となり、練習した。

【ブライト保育園大阪歌島 2024 年度事業報告書】

1. 保育園の概要

(1) 所在地 大阪府大阪市西淀川区歌島 4-4-23

(2) 定員 認可定員 72 名
 利用定員 60 名

(3) 年齢別入所児童数 (2025 年 3 月 31 日在籍数)

	ゆめ 0歳児	にじ 1歳児	つき 2歳児	ほし 3歳児	そら 4歳児	はな 5歳児
認可定員	6	12	12	14	14	14
利用定員	1	11	12	12	12	12
在籍数	3	12	12	12	9	12

(4) 職員数

- ・園長 1名
 - ・保育士 12名 (内 2名育休中)
 - ・管理栄養士 1名
 - ・栄養士 1名
 - ・非常勤保育士 4名
 - ・非常勤子育て支援員 1名
 - ・調理補助 1名
 - ・嘱託医 2名 (内科 1名・歯科 1名)
- 計 23名 (2025年3月31日現在)

(5) 事業年度 2024年(令和6年)4月1日~2025年(令和7年)3月31日

(6) 開園時間 7時~19時 (延長保育 18時~19時)

(7) 職員会議・その他会議について

- ・職員会議 (毎月)
- ・カリキュラム会議 (年齢ごと毎月)
- ・給食会議 (毎月)
- ・乳児会議・幼児会議 (随時)
- ・リーダー会議 (随時)
- ・行事担当者会議 (随時)
- ・昼礼 (毎週金曜日)

(8) 研修について

- ・大阪市西淀川区食育推進ネットワーク研修への参加
- ・大阪市私立保育園連盟 施設長研修への参加

- ・救命救急講習受講（消防署職員より）
- ・済聖会アカデミー受講
- ・キャリアアップ研修への参加
- ・法人主催の主任勉強会に参加

(9) 小学校・行政機関との連絡協調

- ・要対協との連絡、小学校との連絡、申し送り
- ・保護者の要望による子育て支援課との接続、連携

2. 保育理念・方針・目標

【保育理念】子どもたちの「生きる力」（独り立ちし社会の中で生きていく力）の基礎作りを支援する

【保育方針】アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育
（興味・体験・感動・気づき）

- 1) 子どもたちの興味を引き出す、より多くの機会を提供する
- 2) 子どもの思いを受けとめる
- 3) 子どもが自分で経験することを大切にする
- 4) 子どもが自分で考え工夫することを大切にする

【保育モットー】「つよく ゆたかに キラキラと」

『つよく』 ・強い心と丈夫な体

・自分で考え、自分で行動し、生きようとする子ども

『ゆたかに』 ・よく食べ、よく遊び、良く眠る

・いろいろなことに興味を持って自分らしさを表現できる子ども

『キラキラと』・笑顔であいさつ、元気いっぱい

・仲間を大切に素直で思いやりのある子ども

・好きなこと、得意なことを見つけ、それに打ち込める子ども

3. 保育園運営

【園目標】

- ・子ども一人ひとりの発達過程や心身の状態を理解し、子どもの意欲や気持ちを大切に丁寧な保育をする。
- ・安心安全な保育環境を設定する。
- ・職員同士がコミュニケーションを取り、チームワークを高めることで、

より良い園運営に努める。

- 地域の保護者また、在園児の保護者に向けて、保育士の専門性を活かした子育て支援を行う。

【園目標実現のために取り組んだこと】

- 子どもたちが興味を持っていることを知り、好きな遊びに集中できるように、環境を整え、定期的に見直し改善に努めた。
- 子どもに愛情いっぱいに関わり、頑張ったことを褒めること、子どもの話をしっかり聞き受容することにより自己肯定感を高められるようにした。
- ヒヤリハット報告書・怪我報告書は速やかに作成し、全職員で周知し、ヒヤリハットや怪我を防止できるように改善策を話し合った。
- 職員の強み・弱みを知り、協力体制の構築に励んだ。
- 職員会議や昼礼で一人ひとりが積極的に自分の意見を述べることのできる雰囲気を作り、保育を振り返ることで、保育の質を高められるようにした。
- 月1回の子育てのイベントを企画したり、保育園見学会を行い地域の子ども、保護者に園に来ていただき、保育園についての質問や子育て相談に乗り、子育てに楽しさや喜びを感じていただけるように努めた。

4. 年間行事

月	行事	保護者参加行事
4月	• 身体計測 • 避難訓練 • 内科健診（3歳児）	• 入園式
5月	• こどもの日の集い→各クラスで実施 • 身体計測 • 避難訓練 • 内科健診（4歳児） • 遠足（3・4・5歳児）	• クラス懇談会（0・1・2歳児）
6月	• 歯科検診 • 身体計測 • 不審者対策訓練 • 避難訓練 • 内科健診（5歳児）	• 保育参観（3・4・5歳児）
7月	• 七夕の集い→各クラスで実施 • 身体計測	

	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き ・避難訓練 ・内科健診（0・1歳児） 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・プール閉まい ・内科健診（2歳児） 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・内科健診（3歳児） ・引き渡し訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・キラキラの会→敬老の日にプレゼント（うちわ）を作成し、各家庭よりおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントを渡す
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練→消防署職員にご指導いただく ・内科健診（4歳児） 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（2・3・4・5歳児） ・遠足（3・4・5歳児） 2歳児-歌島公園 3歳児-十三公園 4・5歳児-キッズプラザ、扇町公園 ・身体計測 ・不審者対策訓練 ・勤労感謝の日→警察、消防署、郵便局、給食職員納品業者へ日頃の感謝を伝え、4、5歳児より手作りのプレゼントを渡す ・避難訓練→地震から津波発生の想定でグリコへ避難する ・内科健診（5歳児） 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（2・3・4・5歳児）は、香篋小学校体育館をお借りして実施
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・クリスマス会→各クラスで実施 ・内科健診（0・1歳児） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観（3・4・5歳児）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月遊びの日→各クラスで実施 ・身体計測 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分の会→各クラスで実施 ・不審者対策訓練 ・身体計測 ・誕生会 ・避難訓練 ・内科健診（2歳児） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活発表会（2・3・4・5歳児）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りの会→各クラスで実施 ・お別れ遠足→5歳児-天王寺動物園 ・身体計測 ・お別れ会 ・内科健診（新入園児） ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園式

- ・個人懇談（随時）